

別海町下水道等事業経営戦略

参考資料編

令和6年2月

北海道別海町

目 次

| | |
|--|----|
| 参考資料 1. 各シナリオにおけるシミュレーション結果..... | 1 |
| 1.1 一般会計繰入金を現行水準とした場合（使用料改定は見込まない） | 1 |
| 1.1.1 使用料収入..... | 2 |
| 1.1.2 経費回収率..... | 2 |
| 1.1.3 収益的収支..... | 3 |
| 1.1.4 資本的収支..... | 3 |
| 1.1.5 企業債及び内部留保資金、流動比率..... | 4 |
| 1.1.6 一般会計繰入金..... | 4 |
| 1.2 一般会計基準外繰入金を 10 年でゼロにした場合（使用料改定は見込まない） | 5 |
| 1.2.1 使用料収入..... | 6 |
| 1.2.2 経費回収率..... | 6 |
| 1.2.3 収益的収支..... | 7 |
| 1.2.4 資本的収支..... | 7 |
| 1.2.5 企業債及び内部留保資金、流動比率..... | 8 |
| 1.2.6 一般会計繰入金..... | 8 |
| 1.3 一般会計基準外繰入金を 10 年でゼロ、内部留保資金 2 億円確保を想定した場合 | 9 |
| 1.3.1 使用料収入..... | 10 |
| 1.3.2 経費回収率..... | 10 |
| 1.3.3 収益的収支..... | 11 |
| 1.3.4 資本的収支..... | 11 |
| 1.3.5 企業債及び内部留保資金、流動比率..... | 12 |
| 1.3.6 一般会計繰入金..... | 12 |
| 1.4 一般会計繰入金を縮減し、令和 7 年度に 30%使用料改定をした場合 | 13 |
| 1.4.1 使用料収入..... | 14 |
| 1.4.2 経費回収率..... | 14 |
| 1.4.3 収益的収支..... | 15 |

| | | |
|---------|---|----|
| 1.4.4 | 資本的収支..... | 15 |
| 1.4.5 | 企業債及び内部留保資金、流動比率..... | 16 |
| 1.4.6 | 一般会計繰入金..... | 16 |
| 1.5 | 一般会計繰入金を縮減し、使用料の段階的改定を見込む場合（本編採用シナリオ、再掲） | 17 |
| 1.5.1 | 使用料収入..... | 18 |
| 1.5.2 | 経費回収率..... | 18 |
| 1.5.3 | 収益的収支..... | 19 |
| 1.5.4 | 資本的収支..... | 19 |
| 1.5.5 | 企業債及び内部留保資金、流動比率..... | 20 |
| 1.5.6 | 一般会計繰入金..... | 20 |
| 1.6 | 一般会計繰入金を現行水準とし、計画期間で経費回収率 100%を達成する場合 | 21 |
| 1.6.1 | 使用料収入..... | 22 |
| 1.6.2 | 経費回収率..... | 22 |
| 1.6.3 | 収益的収支..... | 23 |
| 1.6.4 | 資本的収支..... | 23 |
| 1.6.5 | 企業債及び内部留保資金、流動比率..... | 24 |
| 1.6.6 | 一般会計繰入金..... | 24 |
| 1.7 | 50年後にも経費回収率維持（令和4年度水準）を想定する場合 | 25 |
| 1.7.1 | 使用料収入..... | 26 |
| 1.7.2 | 経費回収率..... | 26 |
| 1.7.3 | 収益的収支..... | 27 |
| 1.7.4 | 資本的収支..... | 27 |
| 1.7.5 | 企業債及び内部留保資金、流動比率..... | 28 |
| 1.7.6 | 一般会計繰入金..... | 28 |
| 参考資料 2. | 住民アンケート調査結果..... | 29 |
| 2.1 | 回答者の基本属性..... | 30 |
| 2.2 | 下水道について..... | 37 |
| 2.3 | 災害への備えについて..... | 41 |

| | | |
|---------|---------------------|----|
| 2.4 | 下水道の料金について..... | 44 |
| 2.5 | 上下水道課のサービスについて..... | 49 |
| 2.6 | その他..... | 50 |
| 参考資料 3. | 用語集..... | 51 |

参考資料1. 各シナリオにおけるシミュレーション結果

1.1 一般会計繰入金を現行水準とした場合（使用料改定は見込まない）

本シナリオの設定条件は以下のとおりです。

- ・ 一般会計繰入金を、令和4年度と同水準見込む（268,000千円）。
- ・ 使用料改定は見込まない。

本シナリオにおける各経営指標の推移を次ページ以降に示します。

1.1.1 使用料収入

本シナリオでは、有収水量の減少に伴い使用料収入が減少していきます。計画期間最終年度である令和15年度には、約115,000千円の使用料収入になると推定されます。

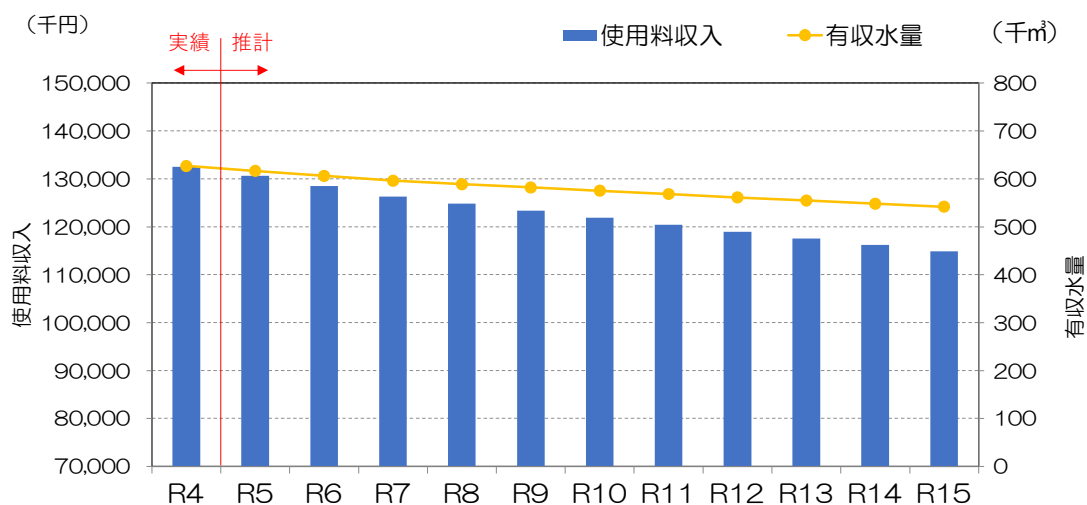


図 1.1 使用料収入の推移予測

1.1.2 経費回収率

本シナリオでは使用料収入は減少していきますが、汚水処理原価にやや変動があるため、経費回収率の大幅な低下は想定されません。ただし、令和4年度に43.0%あった経費回収率が、令和15年度には33.4%まで低下するため、経費回収率の向上に向けて使用料改定を行う必要があるといえます。

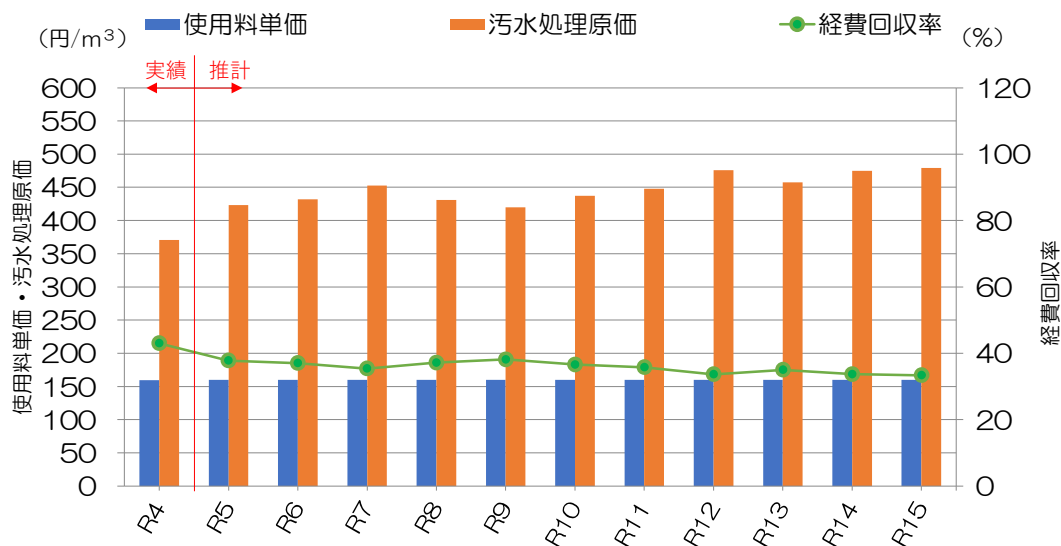


図 1.2 経費回収率の推移予測

1.1.3 収益的収支

純損益については、令和5年度までは赤字となっていました。今回計画期間では常に黒字が見込まれています。令和5年度まで見込んでいた資本的収入（基準内繰入金）を令和6年度からは収益的収入として計上したことが大きく影響しています。また、本シナリオでは一般会計繰入金を現行水準としているため、収益的収入は安定しており、計画期間内では純損益が黒字となる見込みです。

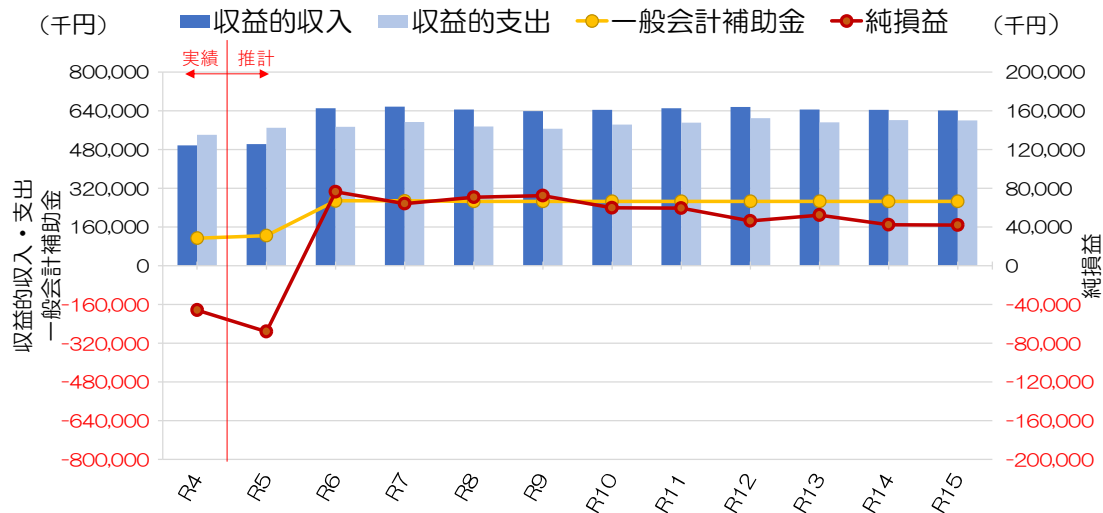


図 1.3 収益的収支の推移予測

1.1.4 資本的収支

企業債借入額・建設改良費は、設備の改築更新計画等（ストックマネジメント計画・最適整備構想・機能保全計画）の事業費による投資計画に基づいて計上しています。

なお、「1.1.3 収益的収支」にて記載した、資本的収入から収益的収入に計上しなおした基準内繰入金はもともと一般会計出資金で見込んでいたため、一般会計出資金が令和6年度以降見込まれない結果となっています。

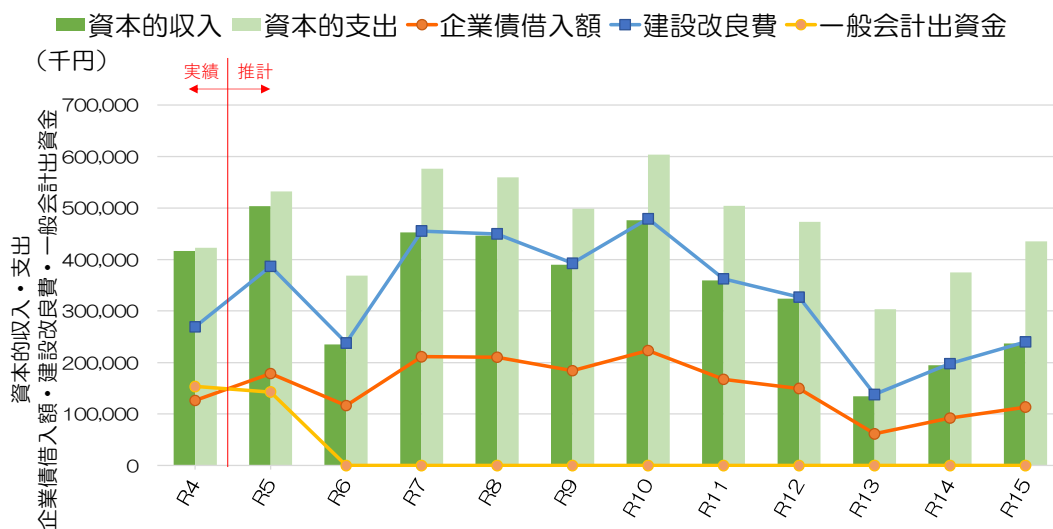


図 1.4 資本的収支の推移予測

1.1.5 企業債及び内部留保資金、流動比率

今回経営戦略における新規投資分により元利償還金は増加傾向であることから、流動比率※は令和12年度を境に概ね低下傾向となっています。しかしながら、令和15年度時点で流動比率は145.9%と推計され、健全な経営状態を維持できているものと考えられます。

※短期的な債務に対する支払能力を表す指標で、100%を下回ると、1年以内に現金化できる資産（流動資産）で1年以内に支払う必要のある負債（流動負債）を賄えないということになります。

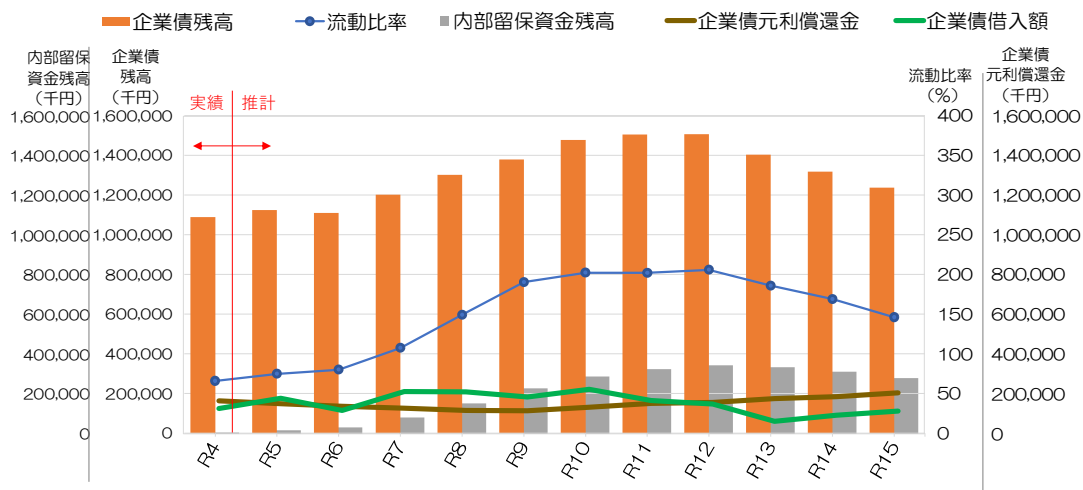


図 1.5 企業債及び内部留保資金、流動比率の推移予測

1.1.6 一般会計繰入金

収益的収支（3条）及び資本的収入（4条）における一般会計繰入金の基準内外の内訳は図1.6のとおりです。本シナリオでは一般会計繰入金を現行水準で見込んでいます。また、「1.1.3 収益的収支」より、4条基準内繰入金の一部を3条基準内繰入金に計上しなおしているため、令和6年度以降4条基準内繰入金は見込んでいません。

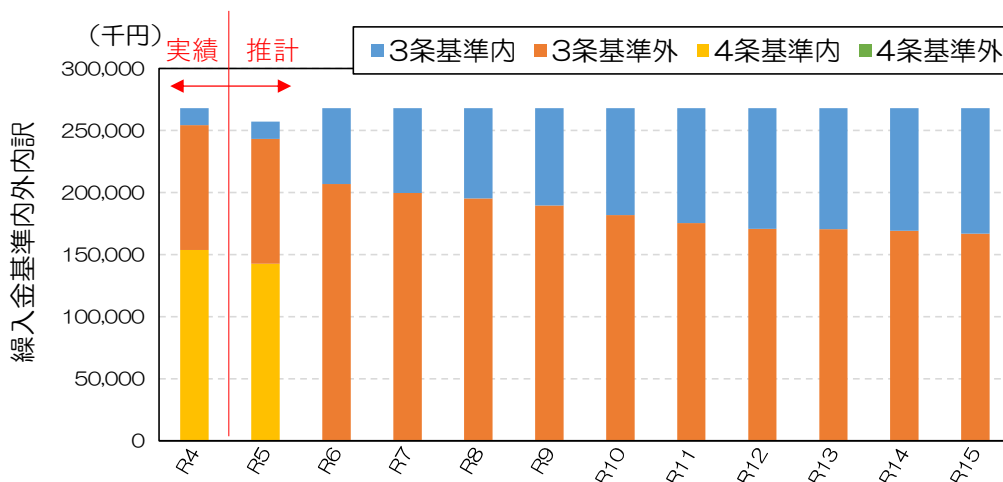


図 1.6 一般会計繰入金基準内外内訳の推移予測

1.2 一般会計基準外繰入金を10年でゼロにした場合（使用料改定は見込まない）

本シナリオの設定条件は以下のとおりです。

- ・ 一般会計基準外繰入金を、10年（経営戦略計画期間）でゼロとするために、3事業合計で毎年20,677千円/年ずつ段階的に縮減する。
- ・ 使用料改定は見込まない。

本シナリオにおける各経営指標の推移を次ページ以降に示します。

1.2.1 使用料収入

本シナリオでは、有収水量の減少に伴い使用料収入が減少していきます。計画期間最終年度である令和15年度には、約115,000千円の使用料収入になると推定されます。

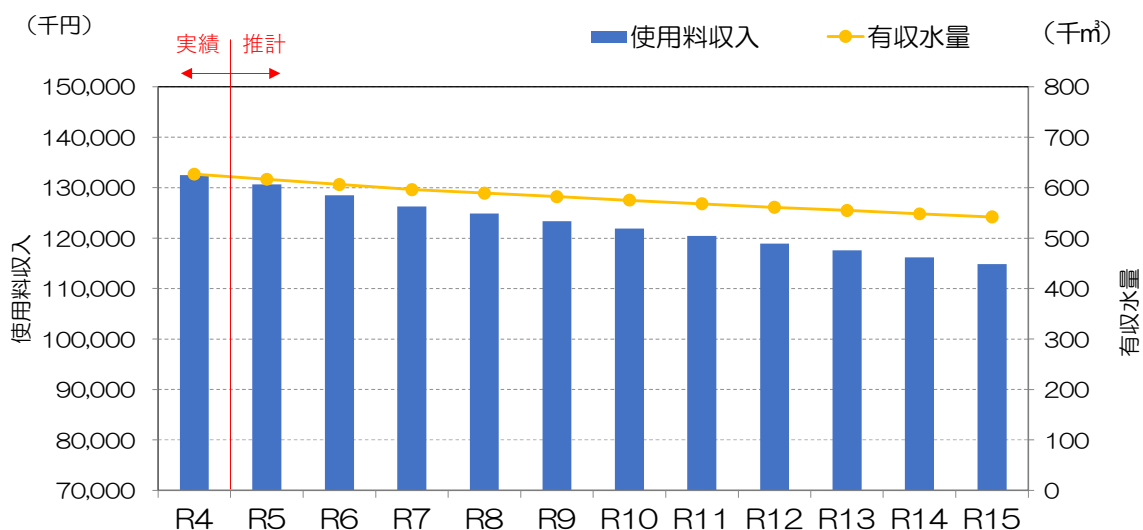


図 1.7 使用料収入の推移予測

1.2.2 経費回収率

本シナリオでは使用料収入は減少していきますが、汚水処理原価にやや変動があるため、経費回収率の大幅な低下は想定されません。ただし、令和4年度に43.0%あった経費回収率が、令和15年度には33.4%まで低下するため、経費回収率の向上に向けて使用料改定を行う必要があるといえます。

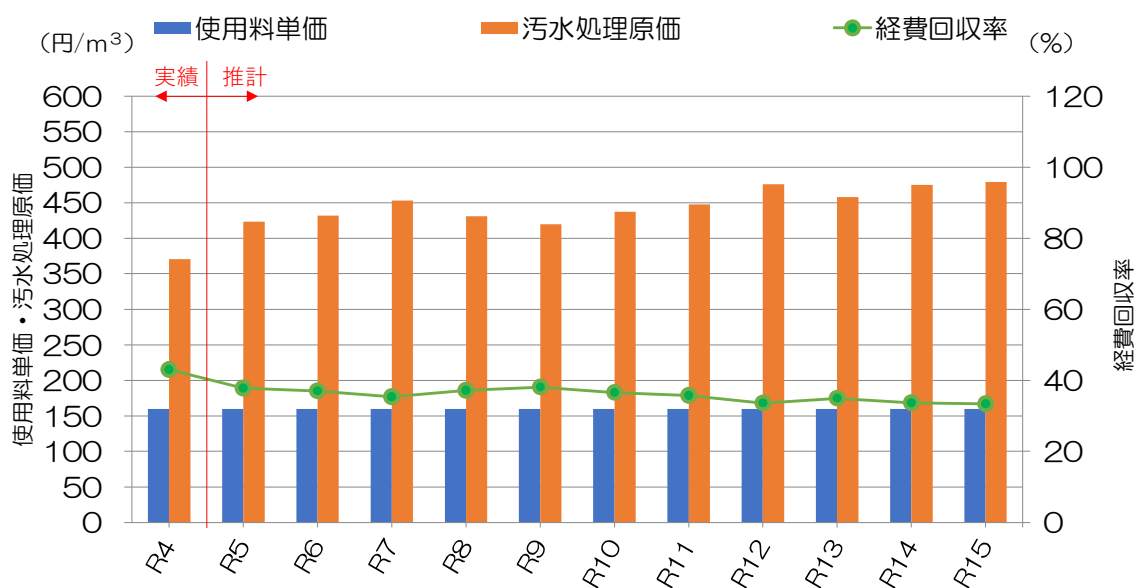


図 1.8 経費回収率の推移予測

1.2.3 収益的収支

純損益について、前述のとおり令和5年度から令和6年度にかけて赤字から黒字に転じていますが（「1.1.3 収益的収支」参照）、その後急速に減少していき、令和10年度には赤字に転じる見込みです。本シナリオでは一般会計基準外繰入金を10年でゼロとするために、20,677千円/年の減少を設定しており、これが収入減少に大きく影響しています。

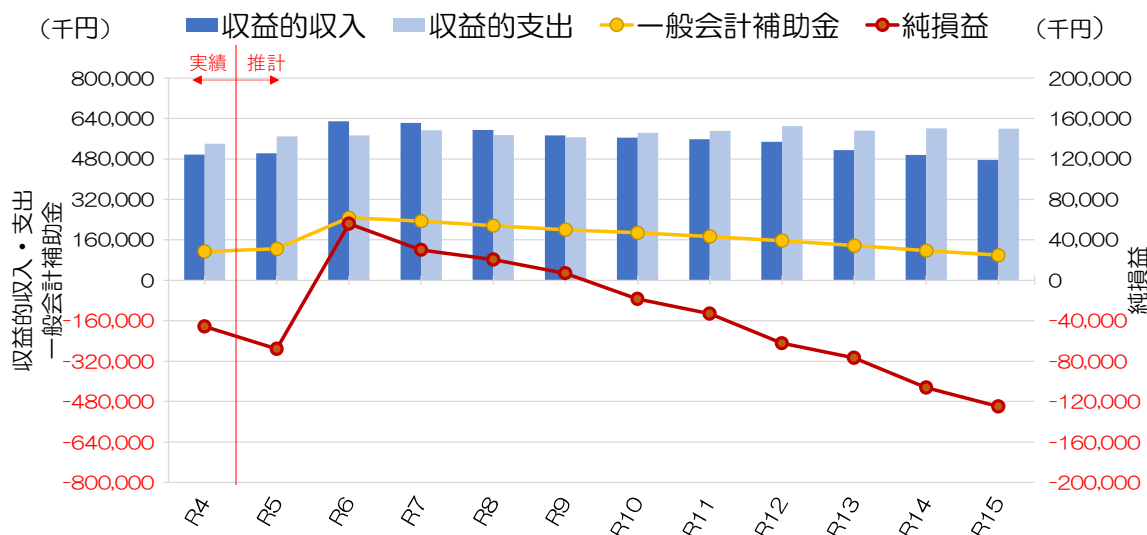


図 1.9 収益的収支の推移予測

1.2.4 資本的収支

企業債借入額・建設改良費は、設備の改築更新計画等（ストックマネジメント計画・最適整備構想・機能保全計画）の事業費による投資計画に基づいて計上しています。

なお、「1.1.3 収益的収支」にて記載した、資本的収入から収益的収入に計上しなおした基準内繰入金はもともと一般会計出資金で見込んでいたため、一般会計出資金が令和6年度以降見込まれない結果となっています。

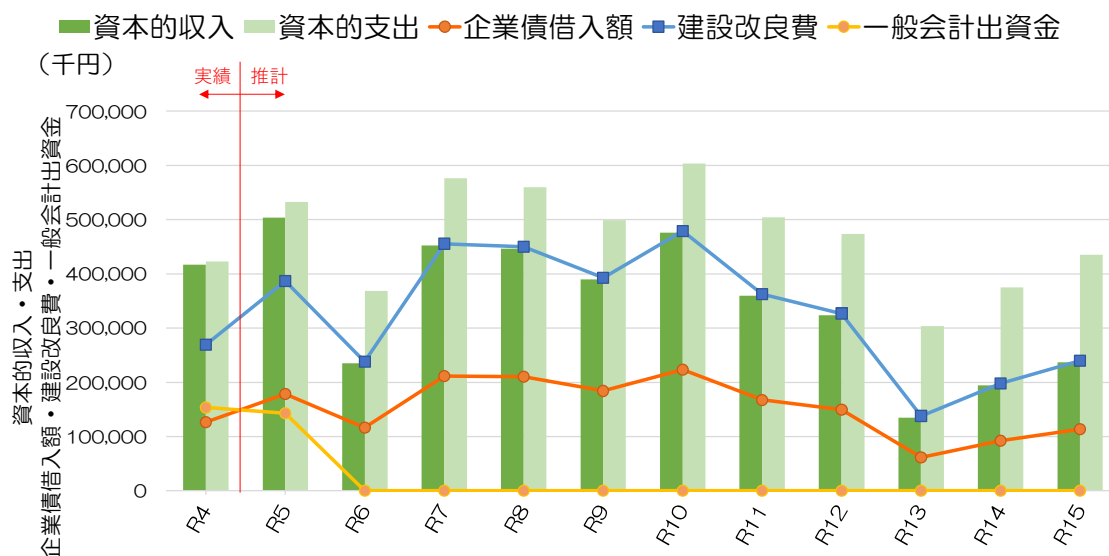


図 1.10 資本的収支の推移予測

1.2.5 企業債及び内部留保資金、流動比率

一般会計繰入金を10年でゼロとしたことで収入減少が著しく、内部留保資金は令和11年度にマイナスとなり、資金ショートとなる見込みです。その後も経営状況は厳しく、流動比率は令和13年度にマイナスとなり、適正な事業運営ができていません。

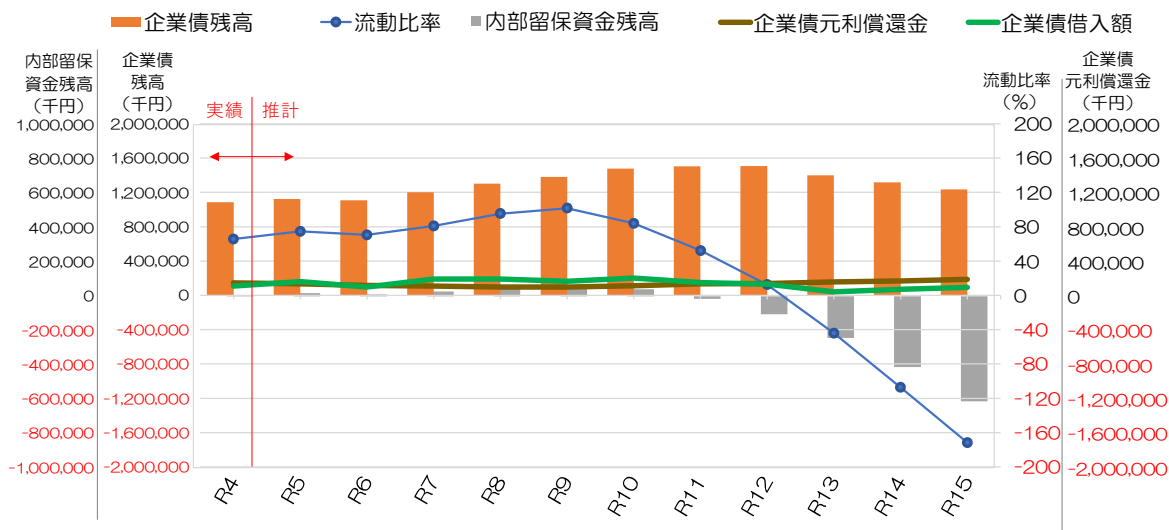


図 1.11 企業債及び内部留保資金、流動比率の推移予測

1.2.6 一般会計繰入金

一般会計基準外繰入金をゼロとするため、20,677千円/年の減少を設定しています。令和15年度には基準外繰入金がゼロとなり、繰入金全体で、約100,000千円になると想定されます。

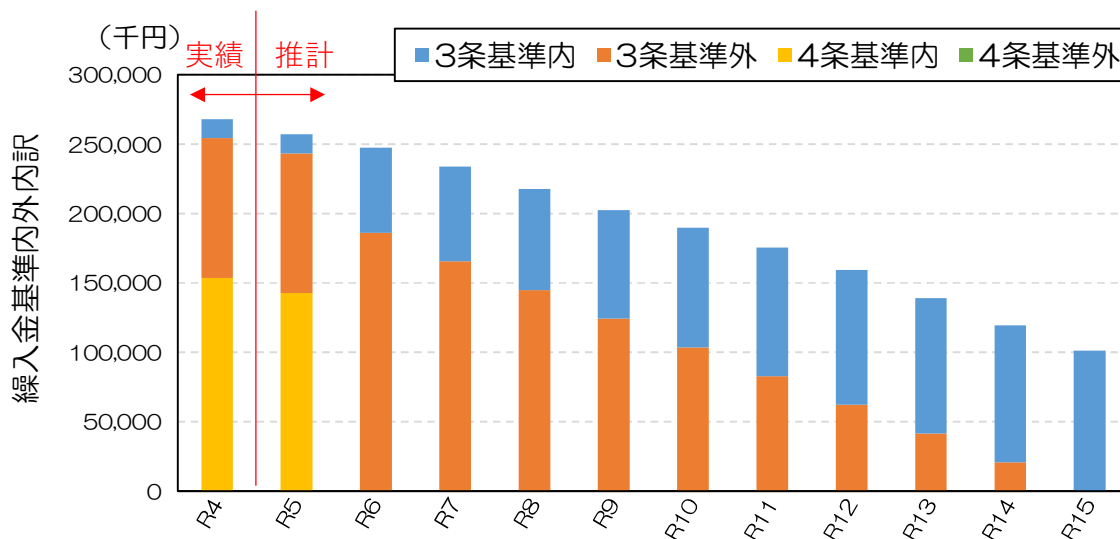


図 1.12 一般会計繰入金基準内外内訳の推移予測

1.3 一般会計基準外繰入金を10年でゼロ、内部留保資金2億円確保を想定した場合

本シナリオの設定条件は以下のとおりです。

- ・ 一般会計基準外繰入金を、10年（経営戦略計画期間）でゼロとするために、3事業合計で毎年20,677千円/年ずつ段階的に縮減する。
- ・ 令和7年度に70%使用料改定を行う。

本シナリオにおける各経営指標の推移を次ページ以降に示します。

1.3.1 使用料収入

令和7年度に70%の使用料改定を見込むため、令和7年度の使用料収入は大きく上昇します(約215,000千円)。その後は使用料改定をしないため使用料収入は減少しますが、令和15年度においても約195,000千円程度は維持できるものと推定されます。

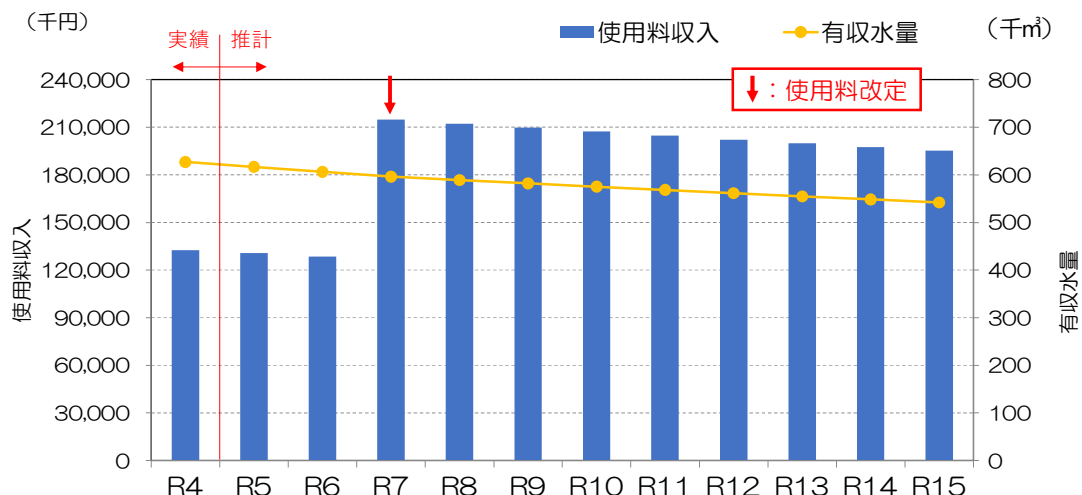


図 1.13 使用料収入の推移予測

1.3.2 経費回収率

令和7年度に70%の使用料改定を実施するため、経費回収率は20%以上の上昇が見込まれます(37.0%→60.1%)。その後汚水処理原価の変動もありますが、令和15年度には経費回収率は56.8%となり、令和4年度(43.0%)と比較して、10%以上の上昇が見込まれます。

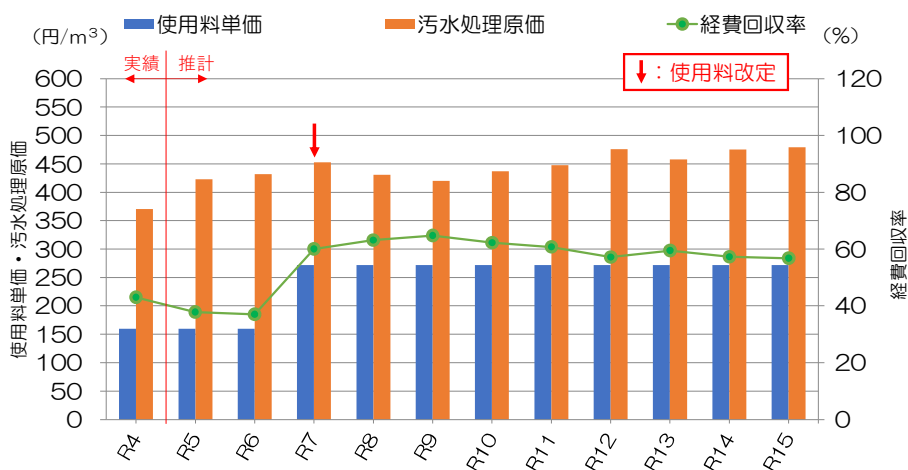


図 1.14 経費回収率の推移予測

1.3.3 収益的収支

純損益が令和5年度から令和6年度に黒字に転じる理由は「1.1.3 収益的収支」のとおりです。令和7年度に70%使用料改定をすることで、収入及び純損益が大きく増加します。しかしながら、繰入金を20,677千円/年減少させているので収入は減少傾向となり、令和14年度には純損益が赤字になると推定されます。

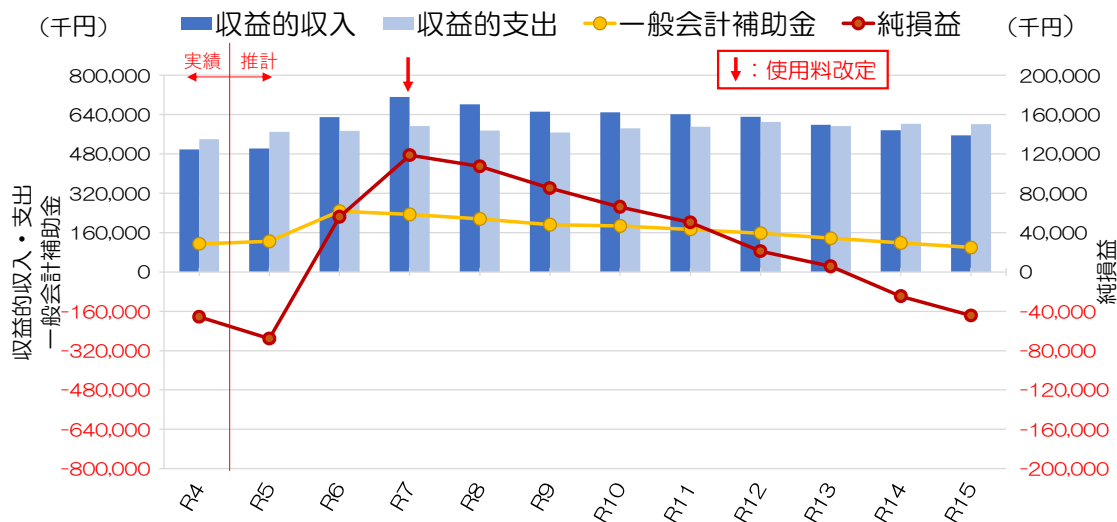


図 1.15 収益的収支の推移予測

1.3.4 資本的収支

企業借入額・建設改良費は、設備の改築更新計画等（ストックマネジメント計画・最適整備構想・機能保全計画）の事業費による投資計画に基づいて計上しています。

なお、「1.1.3 収益的収支」にて記載した、資本的収入から収益的収入に計上しなおした基準内繰入金はもともと一般会計出資金で見込んでいたため、一般会計出資金が令和6年度以降見込まれない結果となっています。

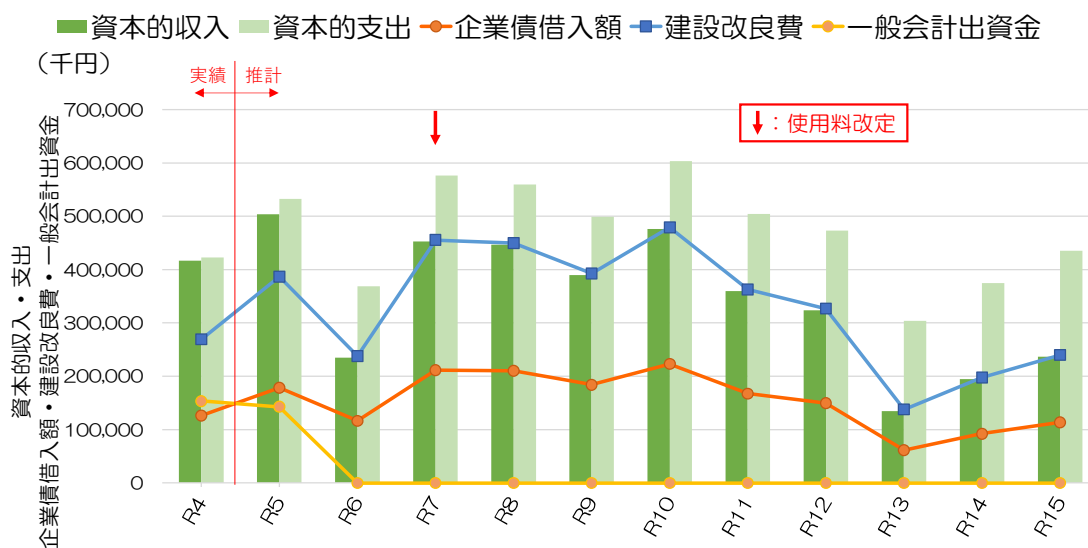


図 1.16 資本的収支の推移予測

1.3.5 企業債及び内部留保資金、流動比率

令和7年度の70%使用料改定が内部留保資金の大幅な増加及び流動比率の上昇につながり、流動比率は令和10年度に約310%にまで上昇するものと想定されます。その後収入減少により内部留保資金は減少していきますが、令和15年度には2億円を維持しています。

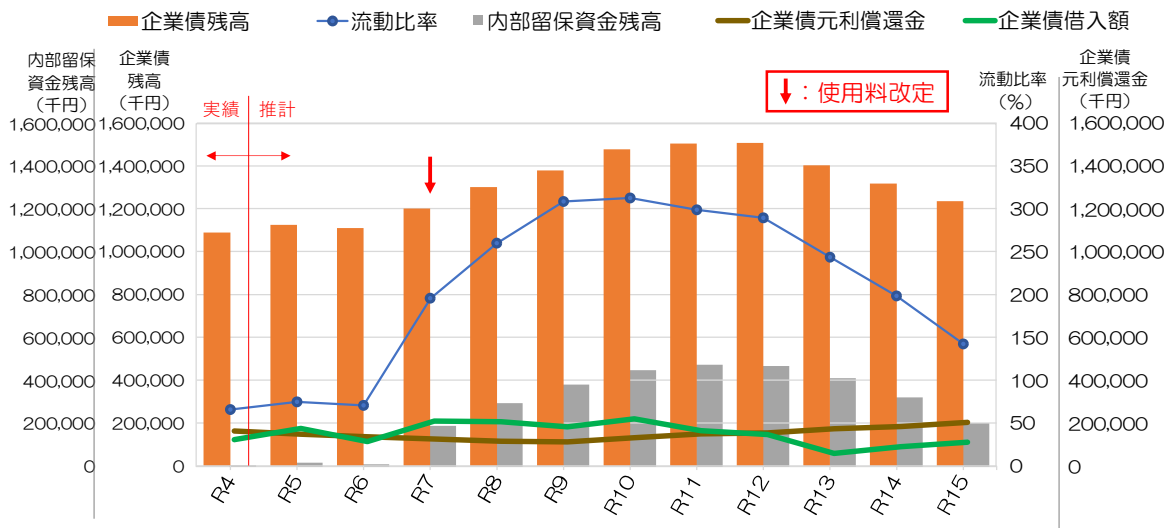


図 1.17 企業債及び内部留保資金、流動比率の推移予測

1.3.6 一般会計繰入金

一般会計基準外繰入金をゼロとするため、20,677 千円/年の減少を設定しています。令和15年度には基準外繰入金がゼロとなり、繰入金全体で、約100,000千円になると想定されます。

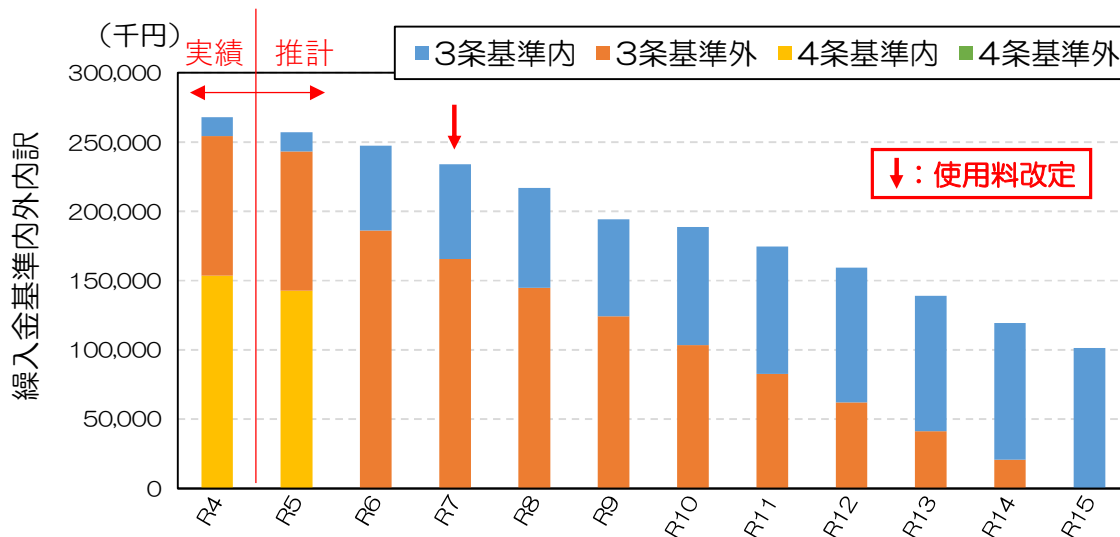


図 1.18 一般会計繰入金基準内外内訳の推移予測

1.4 一般会計繰入金を縮減し、令和7年度に30%使用料改定をした場合

本シナリオの設定条件は以下のとおりです。

- ・ 一般会計基準外繰入金を、令和8年度以降3事業合計で54,000千円縮減する。
(内部留保資金が2億円に到達した時点より繰入金縮減を行う)
- ・ 令和7年度に30%使用料改定を行う。

本シナリオにおける各経営指標の推移を次ページ以降に示します。

1.4.1 使用料収入

令和7年度に30%の使用料改定を見込むため、令和7年度の使用料収入は大きく上昇します(約164,000千円)。その後は使用料改定をしないため使用料収入は減少しますが、令和15年度においても約150,000千円程度は維持できるものと推定されます。

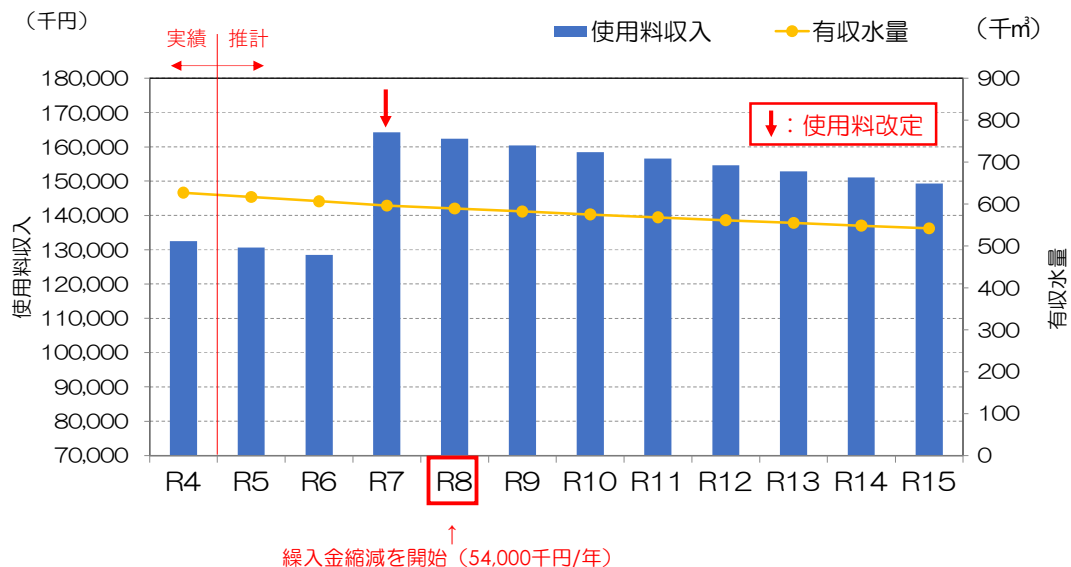


図 1.19 使用料収入の推移予測

1.4.2 経費回収率

令和7年度に30%の使用料改定を実施するため、経費回収率は9%程度の上昇が見込まれます(37.0%→45.9%)。その後汚水処理原価の変動もありますが、令和15年度には経費回収率は43.4%となり、令和4年度(43.0%)からの上昇が見込まれます。

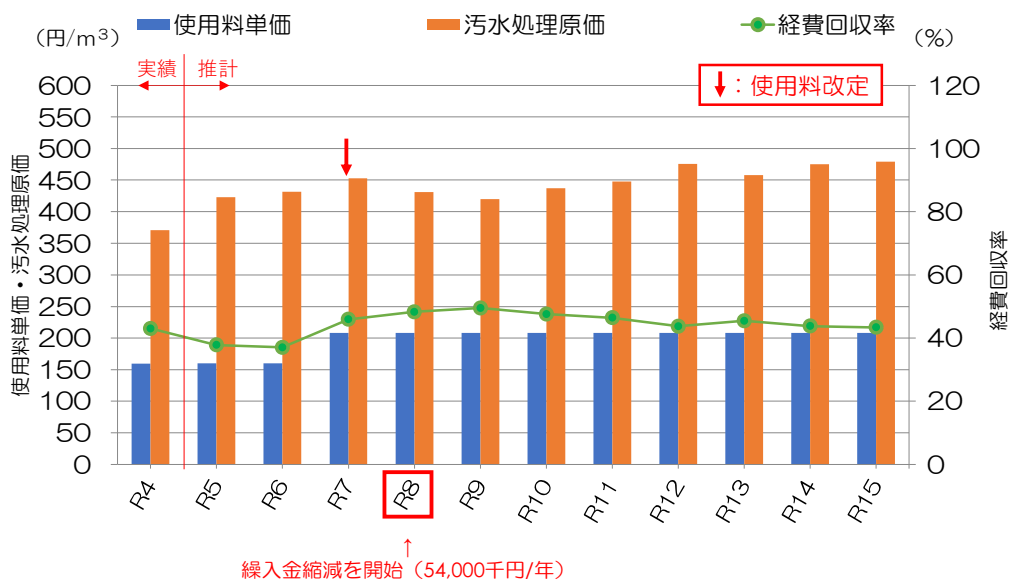


図 1.20 経費回収率の推移予測

1.4.3 収益的収支

純損益が令和5年度から令和6年度に黒字に転じる理由は「1.1.3 収益的収支」のとおりです。令和7年度に30%使用料改定をすることで、収入及び純損益が増加します。令和8年度から繰入金縮減(54,000千円/年)をすることで収入は微減しますが、計画期間内では黒字を維持することが可能であると想定されます。

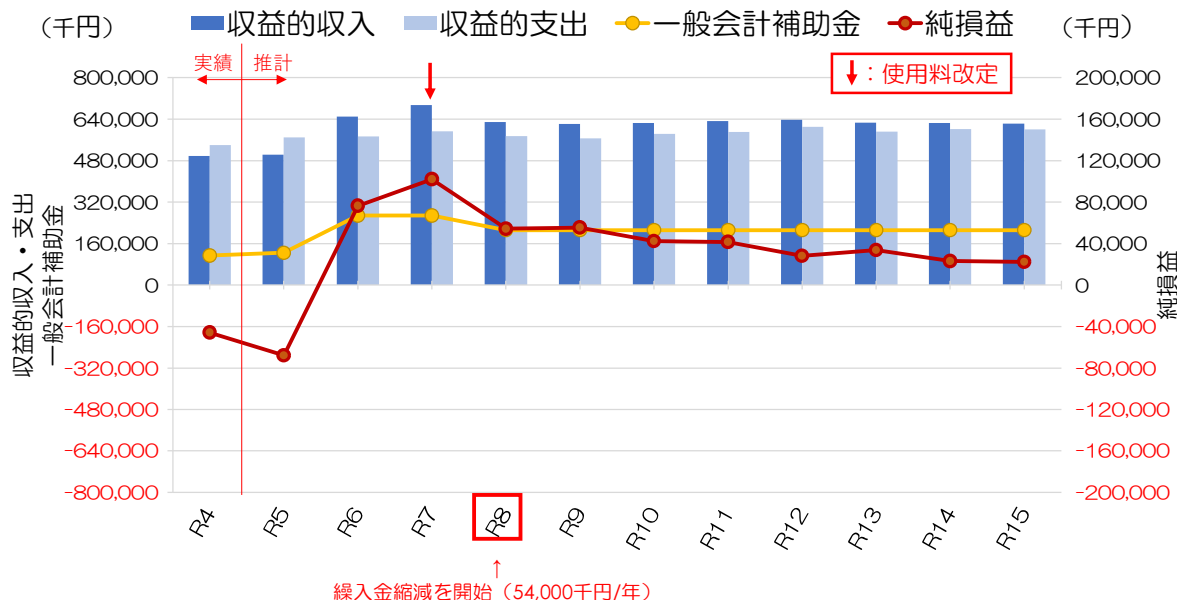


図 1.21 収益的収支の推移予測

1.4.4 資本的収支

企業債借入額・建設改良費は、設備の改築更新計画等(ストックマネジメント計画・最適整備構想・機能保全計画)の事業費による投資計画に基づいて計上しています。

なお、「1.1.3 収益的収支」にて記載した、資本的収入から収益的収入に計上しなおした基準内繰入金はもともと一般会計出資金で見込んでいたため、一般会計出資金が令和6年度以降見込まれない結果となっています。

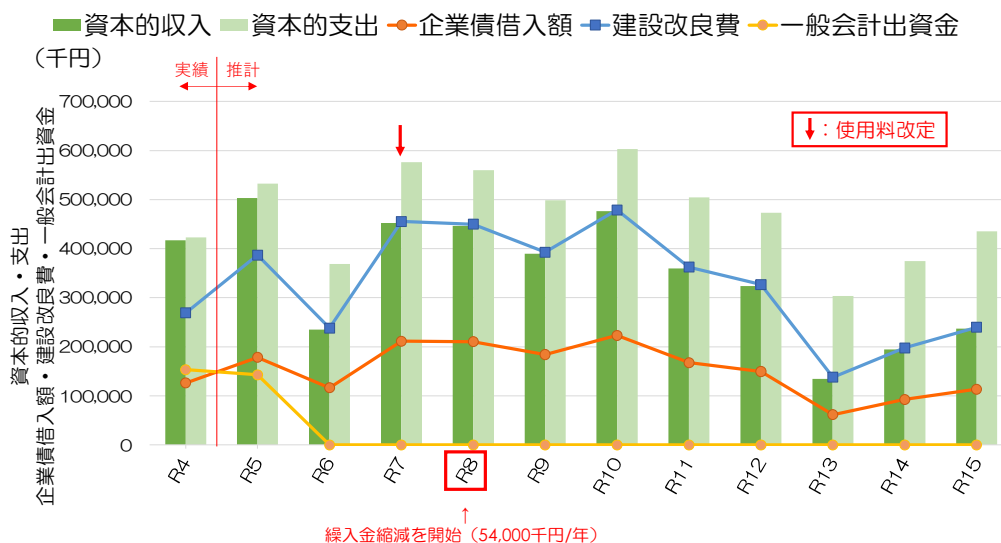


図 1.22 資本的収支の推移予測

1.4.5 企業債及び内部留保資金、流動比率

令和7年度の30%使用料改定による内部留保資金の増加及び流動比率の上昇につながり、流動比率は令和10年度に約225%にまで上昇するものと想定されます。その後繰入金縮減を含む収入減少により内部留保資金は減少していきますが、令和15年度には2億円を維持しています。

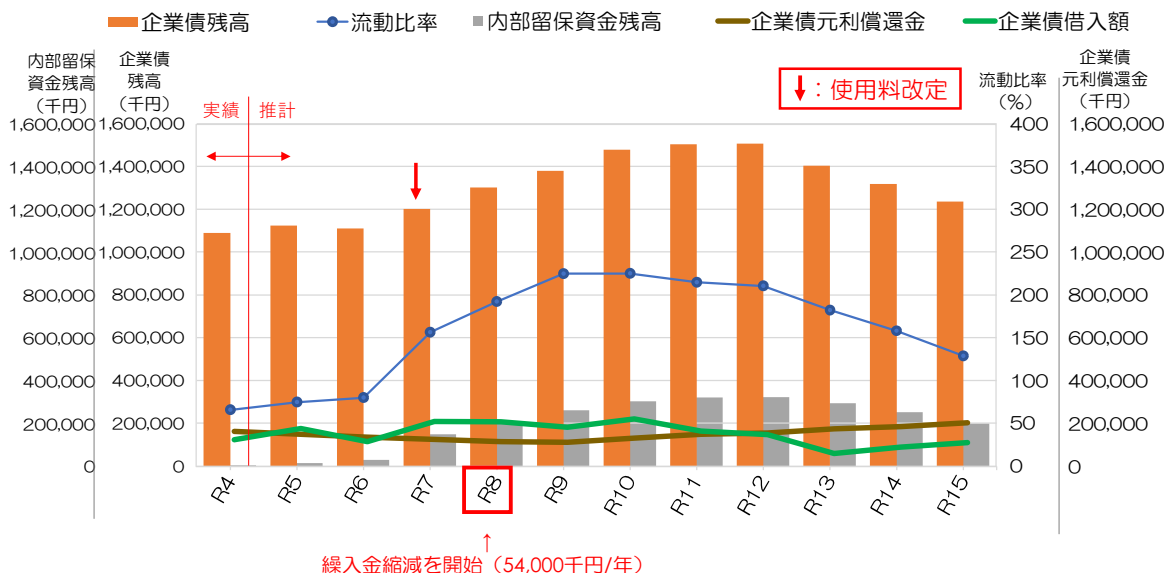


図 1.23 企業債及び内部留保資金、流動比率の推移予測

1.4.6 一般会計繰入金

令和8年度より一般会計繰入金を54,000千円/年縮減していることから、令和8年度以降の繰入金合計額は、約214,000千円になると想定されます。

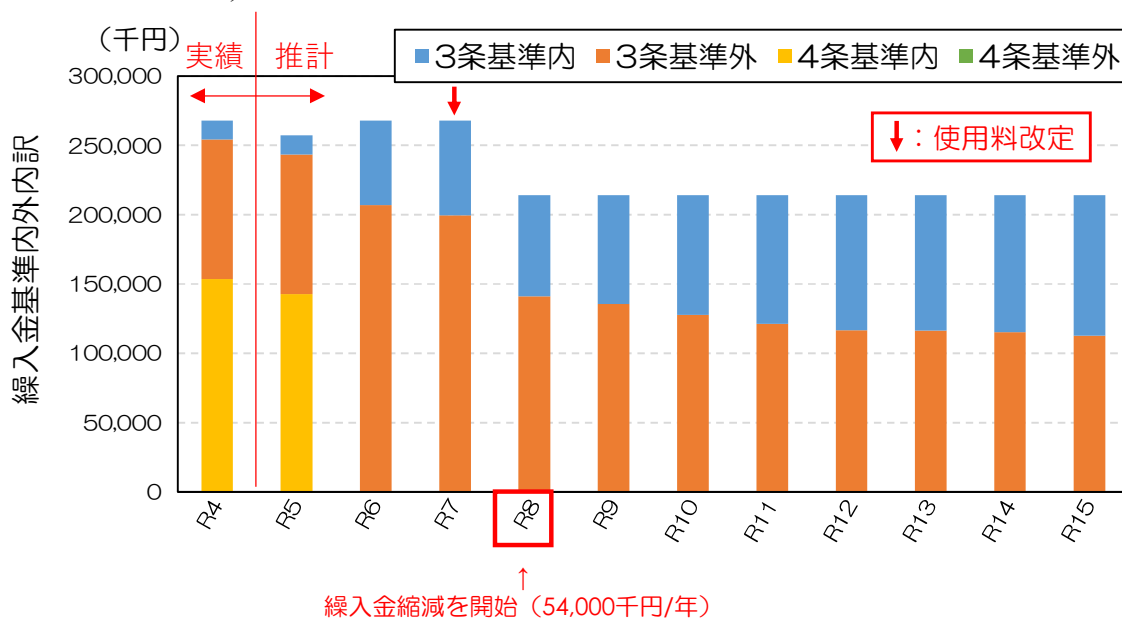


図 1.24 他会計繰入金基準内外内訳の推移予測 (10年分)

1.5 一般会計繰入金を縮減し、使用料の段階的改定を見込む場合(本編採用シナリオ、再掲)

本シナリオの設定条件は以下のとおりです。

- ・ 一般会計基準外繰入金を、令和9年度以降3事業合計で39,000千円縮減する。
(内部留保資金が2億円に到達した時点より繰入金縮減を行う)
- ・ 令和7年度、令和12年度、令和15年度にそれぞれ10%ずつ使用料改定を行う。
(合計改定率30%)

本シナリオにおける各経営指標の推移を次ページ以降に示します。

1.5.1 使用料収入

今回シナリオでは令和7年度・令和12年度・令和15年度に10%ずつ使用料改定を見込んでいるため、当年に使用料収入が上昇しています。計画期間最終年度である令和15年度には、110,000千円の使用料収入を確保するものと推定されます。

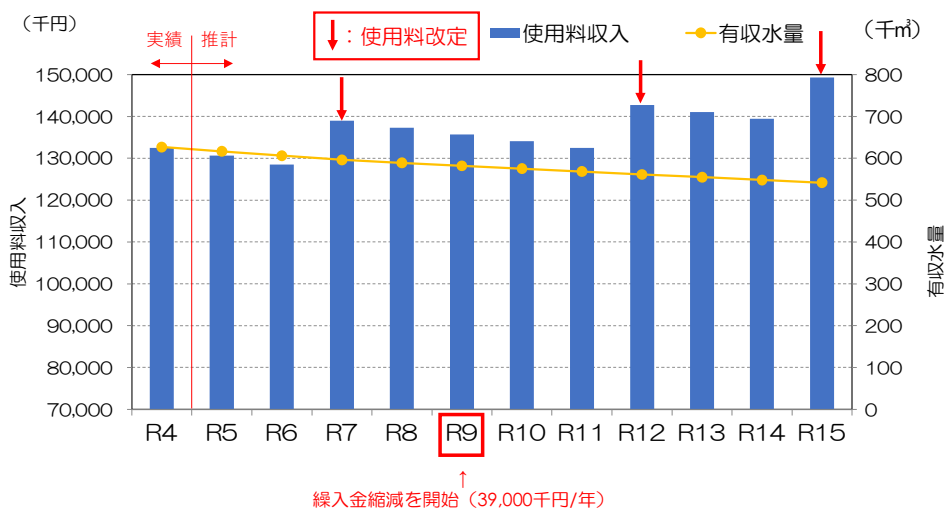


図 1.25 使用料収入の推移予測

1.5.2 経費回収率

令和7年度・令和12年度・令和15年度に10%ずつ使用料改定を見込んでいるため、当年に使用料単価が上昇しています。また、汚水処理原価はやや変動がありますが、経費回収率はおおよそ40%前後を推移しており、令和4年度で43.0%でしたが、令和15年度には43.4%となっています。

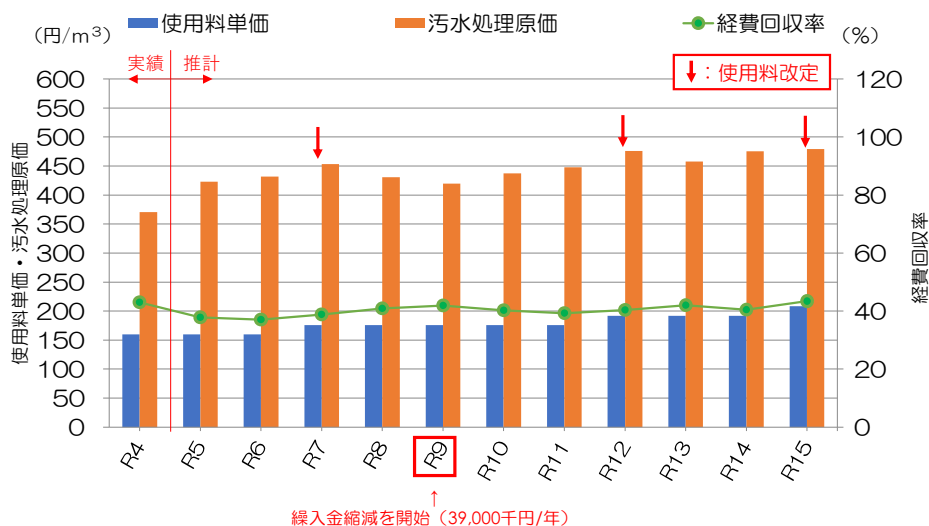


図 1.26 経費回収率の推移予測

1.5.3 収益的収支

純損益が令和5年度から令和6年度に黒字に転じる理由は「1.1.3 収益的収支」のとおりです。これにより一般会計補助金は令和5年度から令和6年度にかけて増加する結果となりますが、令和9年度より39,000千円の繰入金縮減となり、計画期間内では230,000千円前後を推移します。

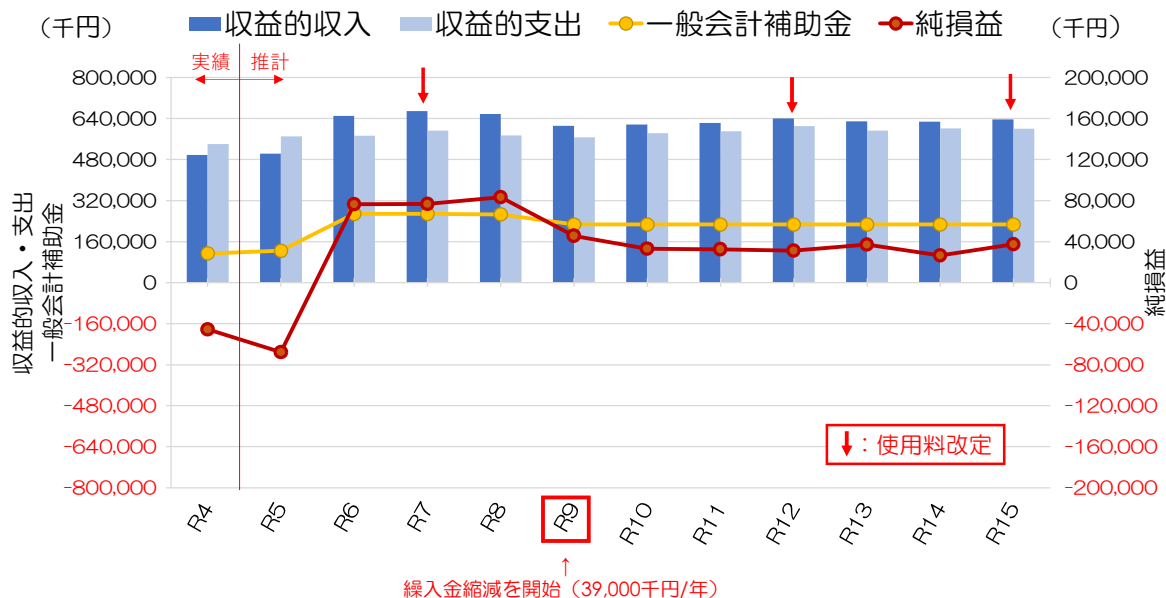


図 1.27 収益的収支の推移予測

1.5.4 資本的収支

企業債借入額・建設改良費は、設備の改築更新計画等（ストックマネジメント計画・最適整備構想・機能保全計画）の事業費による投資計画に基づいて計上しています。

なお、「1.1.3 収益的収支」にて記載した、資本的収入から収益的収入に計上しなおした基準内繰入金はもともと一般会計出資金で見込んでいたため、一般会計出資金が令和6年度以降見込まれない結果となっています。

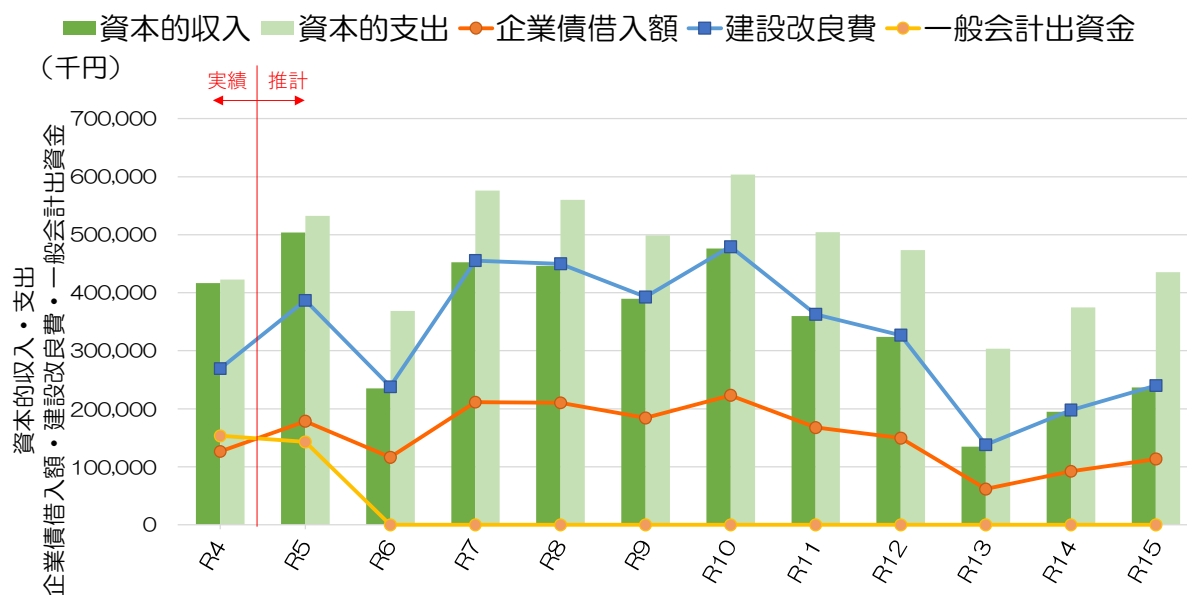


図 1.28 資本的収支の推移予測

1.5.5 企業債及び内部留保資金、流動比率

企業債残高は、既存分の元金償還が計画期間内で3割ほどに減少することもあり、令和12年度以降減少傾向になると見込まれます。

また、今回経営戦略における新規分の投資計画により元利償還金は増加傾向であることに加えて、令和9年度以降繰入金縮減を行っているため、流動比率は令和9年度を境に概ね低下傾向となっています。しかしながら、令和15年度時点で流動比率は128.7%と推計され、健全な経営状態を維持できているものと考えられます。

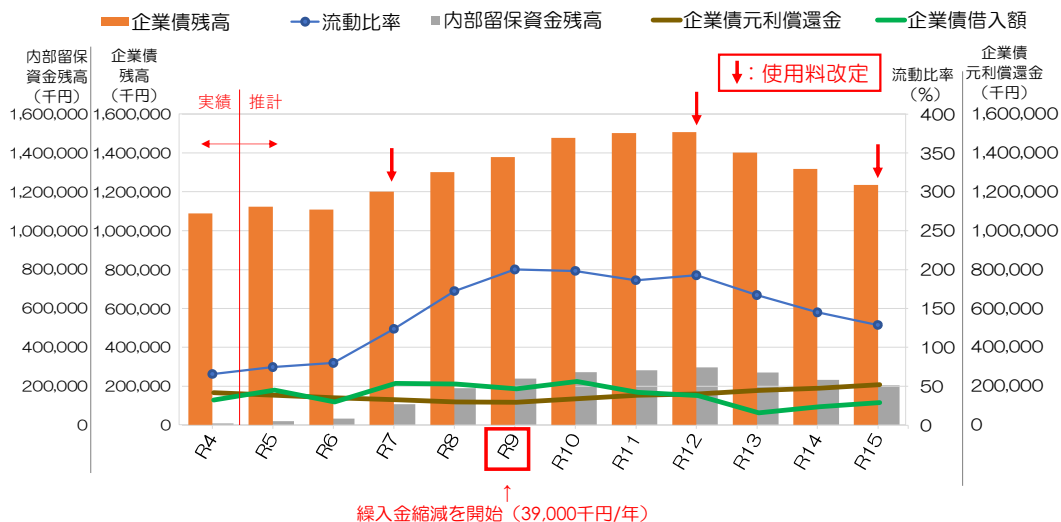


図 1.29 企業債及び内部留保資金、流動比率の推移予測

1.5.6 一般会計繰入金

収益的収支（3条）及び資本的収入（4条）における一般会計繰入金の基準内外の内訳は図1.6のとおりです。令和9年度より39,000千円/年縮減するため、令和9年度以降繰入金全体で約230,000千円の見込みとなっています。また、「1.1.3 収益的収支」より、4条基準内繰入金の一部を3条基準内繰入金に計上しなおしているため、令和6年度以降4条基準内繰入金は見込んでいません。

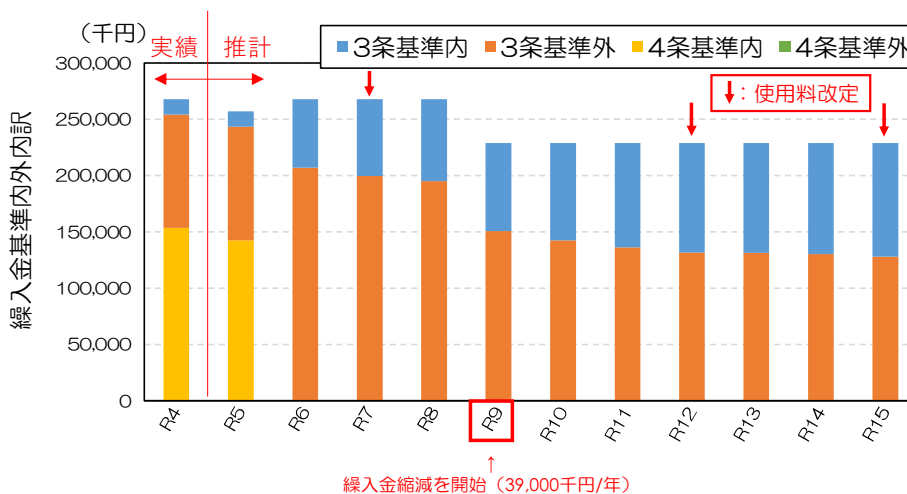


図 1.30 他会計繰入金基準内外内訳の推移予測

1.6 一般会計繰入金を現行水準とし、計画期間で経費回収率 100%を達成する場合

本シナリオの設定条件は以下のとおりです。

- ・ 一般会計繰入金を、令和 4 年度と同水準見込む (268,000 千円)。
- ・ 令和 7 年度に 60%、令和 12 年度に 70%、令和 15 年度に 70%ずつ使用料改定を行う。
(合計改定率 200%)

本シナリオにおける各経営指標の推移を次ページ以降に示します。

1.6.1 使用料収入

令和7年度に60%、令和12年度に70%、令和15年度に70%ずつ使用料改定を見込んでいるため、当年に使用料収入が大きく上昇しています。計画期間最終年度である令和15年度には、345,000千円の使用料収入を確保するものと推定されます。

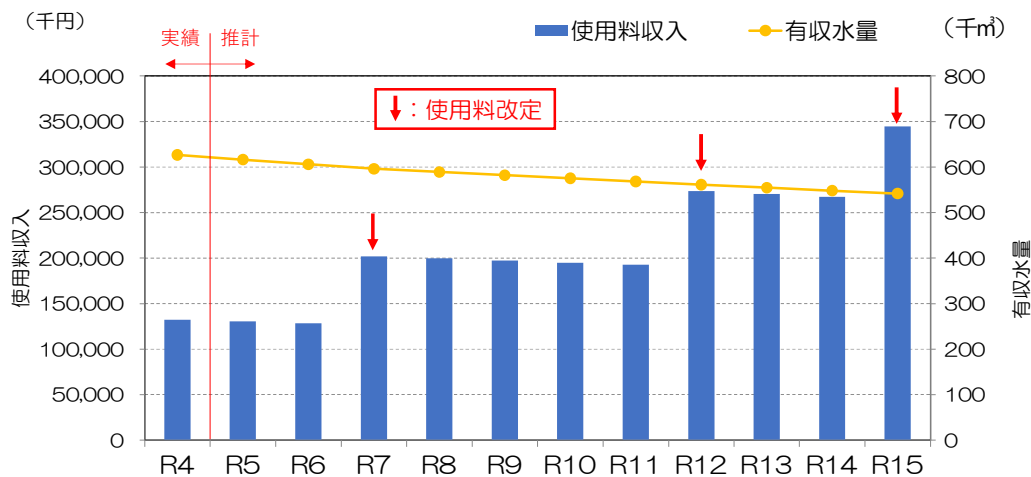


図 1.31 使用料収入の推移予測

1.6.2 経費回収率

令和7年度に60%、令和12年度に70%、令和15年度に70%ずつ使用料改定を見込んでいるため、汚水処理原価はやや変動がありますが、経費回収率は改定のタイミングで大きく上昇しています。令和15年度には、経費回収率は100%に達するものと想定されます。

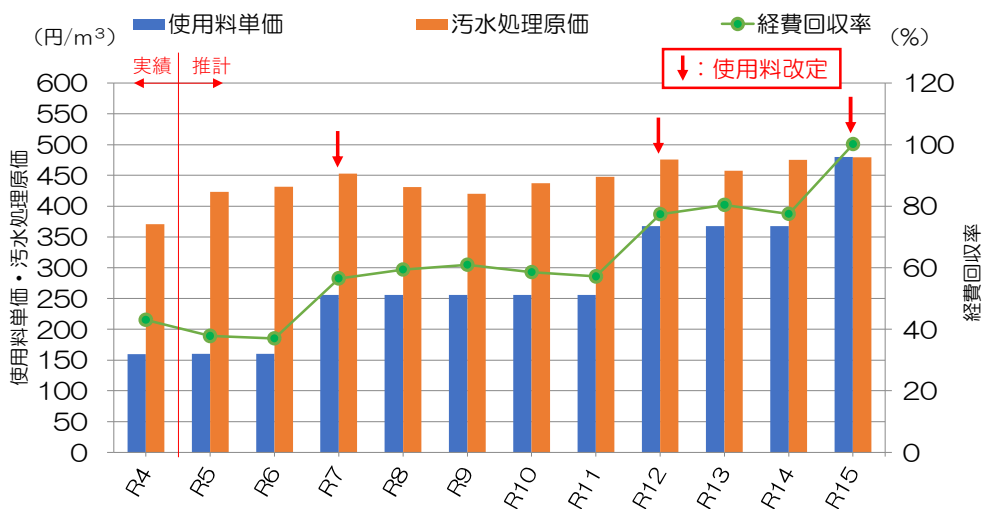


図 1.32 経費回収率の推移予測

1.6.3 収益的収支

純損益が令和5年度から令和6年度に黒字に転じる理由は「1.1.3 収益的収支」のとおりです。一般会計繰入金を現行水準としていることに加えて、大幅な使用料改定を3回見込んでいるため、収入の増加及び純損益の増加が見込まれます。

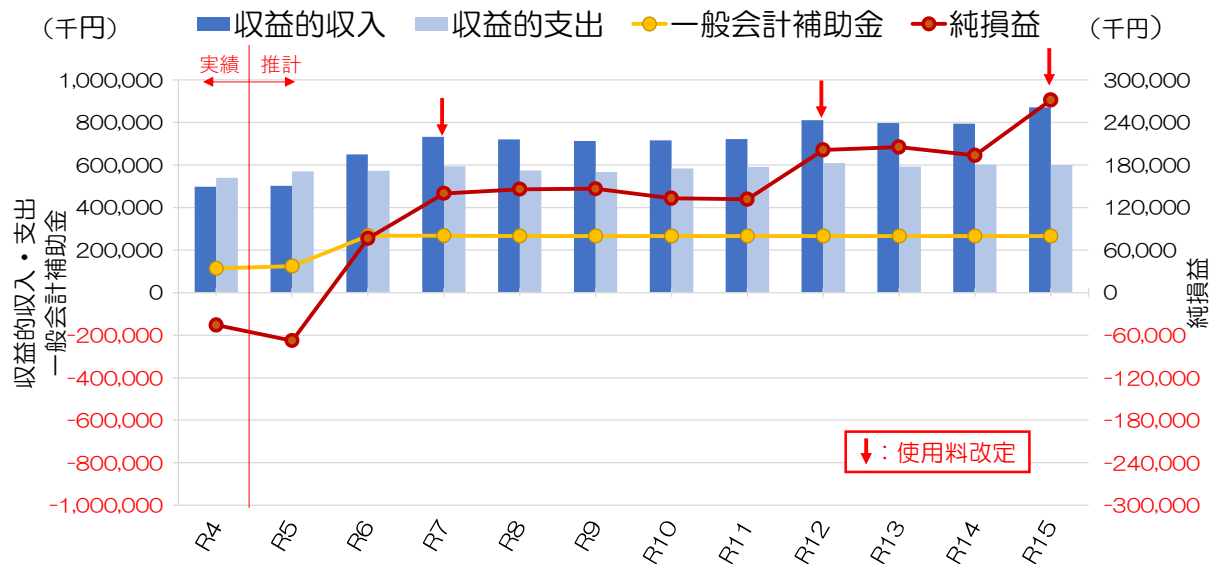


図 1.33 収益的収支の推移予測

1.6.4 資本的収支

企業借入額・建設改良費は、設備の改築更新計画等（ストックマネジメント計画・最適整備構想・機能保全計画）の事業費による投資計画に基づいて計上しています。

なお、「1.1.3 収益的収支」にて記載した、資本的収入から収益的収入に計上しなおした基準内繰入金はもともと一般会計出資金で見込んでいたため、一般会計出資金が令和6年度以降見込まれない結果となっています。

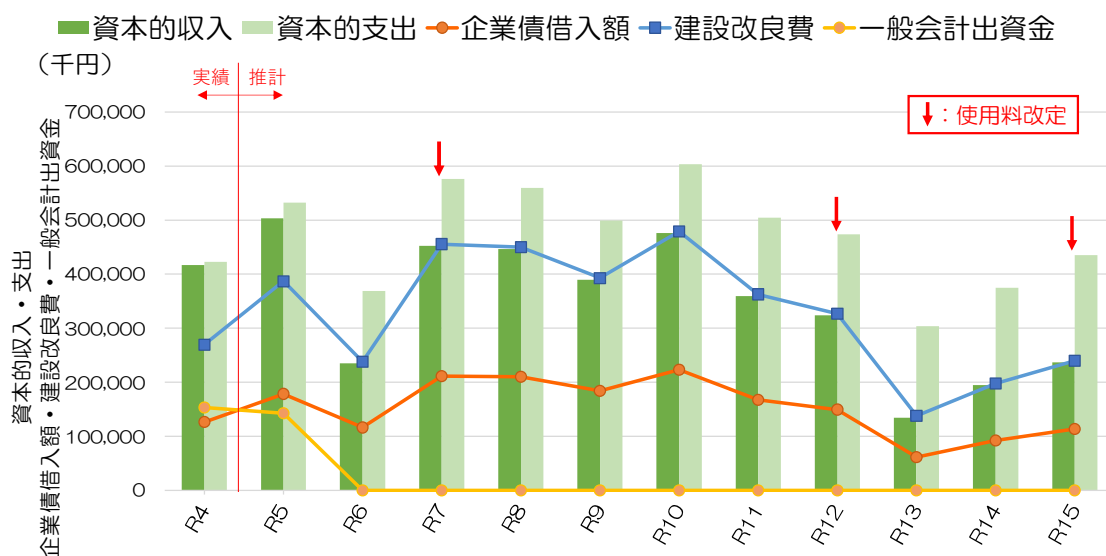


図 1.34 資本的収支の推移予測

1.6.5 企業債及び内部留保資金、流動比率

令和7年度に60%、令和12年度に70%、令和15年度に70%ずつ使用料改定を見込んでいるため、内部留保資金及び流動比率は増加傾向をとります。令和15年度時点で、内部留保資金は約1,532,000千円、流動比率は約660%となり、経営状態に問題はありません。

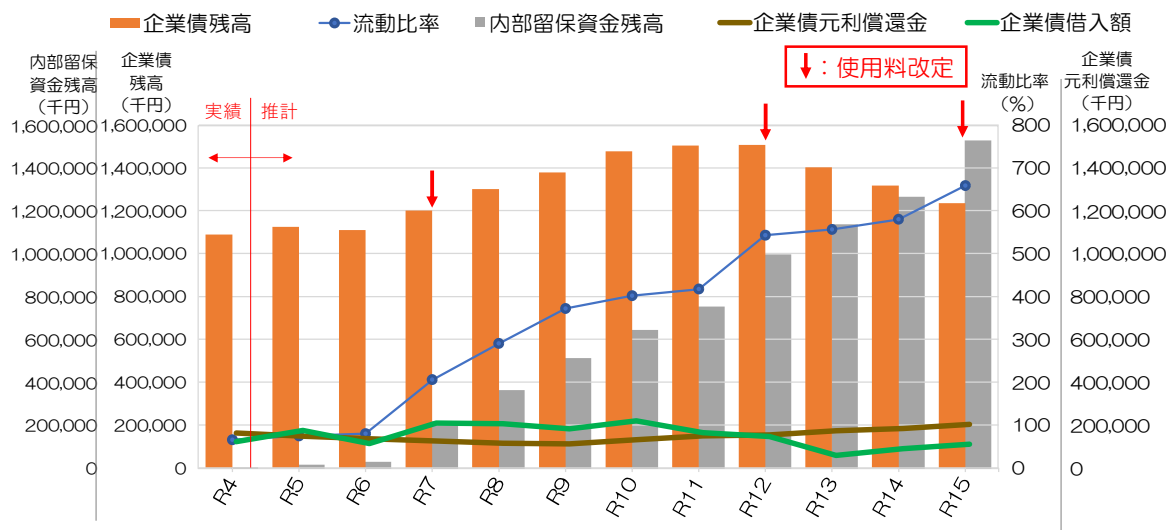


図 1.35 企業債及び内部留保資金、流動比率の推移予測

1.6.6 一般会計繰入金

収益的収支(3条)及び資本的収入(4条)における一般会計繰入金の基準内外の内訳は図1.6のとおりです。本シナリオでは一般会計繰入金を現行水準で見込んでいます。また、「1.1.3 収益的収支」より、4条基準内繰入金の一部を3条基準内繰入金に計上しなおしているため、令和6年度以降4条基準内繰入金は見込んでいません。

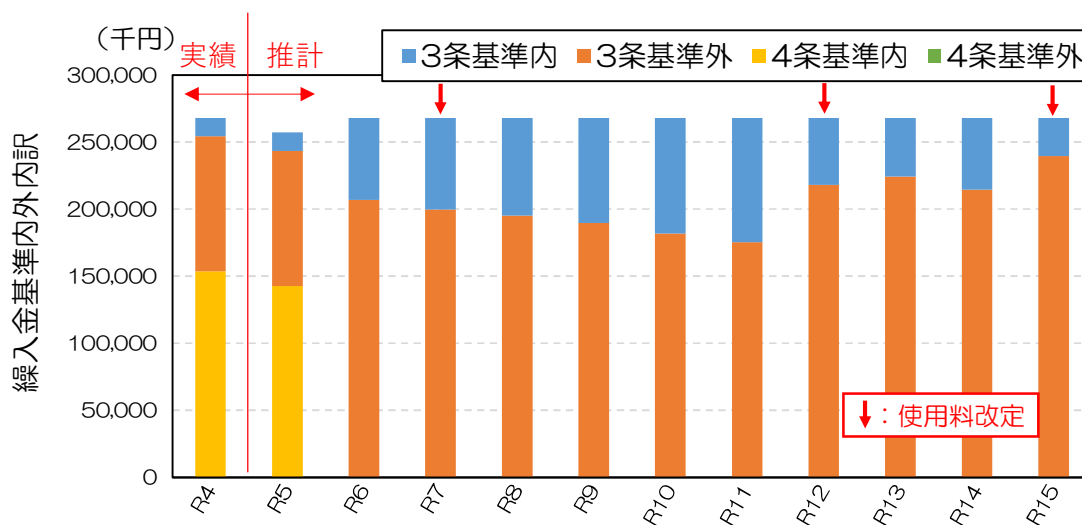


図 1.36 一般会計繰入金基準内外内訳の推移予測

1.7 50年後にも経費回収率維持（令和4年度水準）を想定する場合

本シナリオの設定条件は以下のとおりです。

- ・ 一般会計基準外繰入金を、令和9年度以降3事業合計で39,000千円縮減する。
（内部留保資金が2億円に到達した時点より繰入金縮減を行う）
- ・ 50年後を見据えて以下使用料改定を行う。

| | |
|----------------------------|-------|
| 令和7年度、令和12年度、令和15年度、令和20年度 | : 10% |
| 令和25年度、令和30年度、令和35年度 | : 15% |
| 令和40年度、令和45年度、令和50年度 | : 20% |

（合計改定率145%）

本シナリオにおける各経営指標の推移を次ページ以降に示します。

1.7.1 使用料収入

おおよそ5年のスパンで10~20%ずつ使用料改定を見込んでいるため、当年に使用料収入が上昇しています。50年後において、有収水量は半減しますが、使用料収入は160,000千円となります。

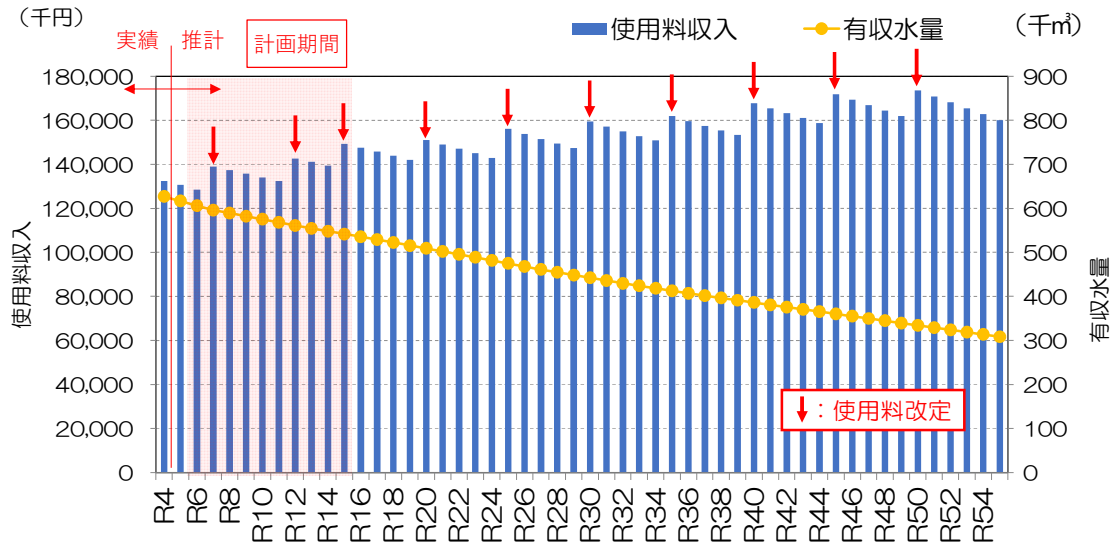


図 1.37 使用料収入の推移予測 (50年分)

1.7.2 経費回収率

物価上昇により汚水処理費は上昇しますが、使用料改定による使用料収入の確保により、経費回収率は40%前後を維持し続けます。

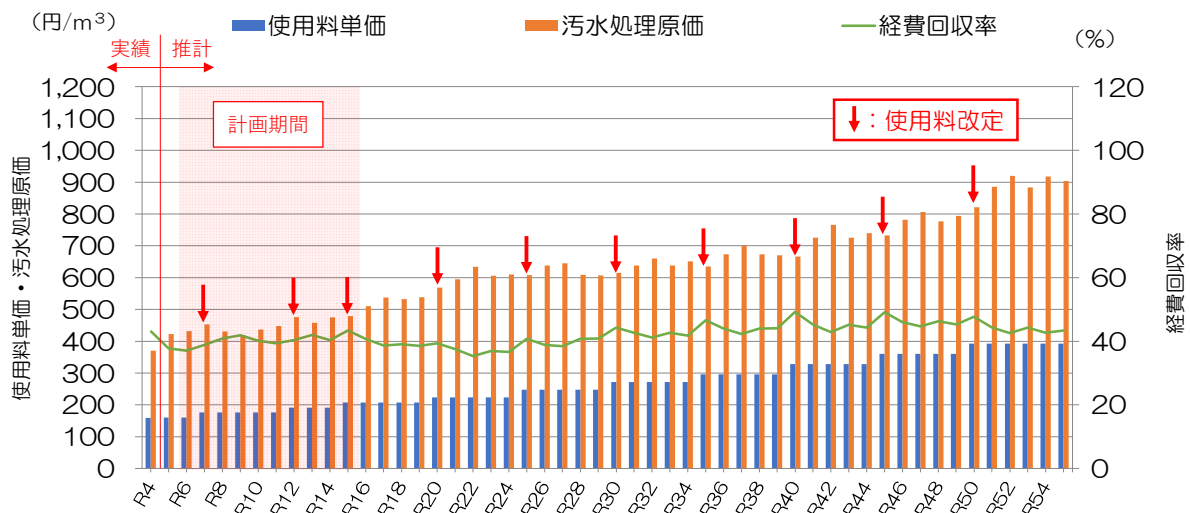


図 1.38 経費回収率の推移予測 (50年分)

1.7.3 収益的収支

純損益が令和5年度から令和6年度に黒字に転じる理由は「1.1.3 収益的収支」のとおりです。令和9年度からの繰入金縮減(39,000千円/年)により、収入減少及び純損益の減少となりますが、計画期間内では令和12年度と令和15年度の使用料改定により純損益の水準を維持し続けます。ただし、その後5年スパンでの使用料改定となると、令和21年度から令和27年度において赤字状態となります(令和25年度を除く)。ただし、既存の企業債償還期間の終了と重なることもあり、令和28年度以降純損益は黒字になる見込みです。

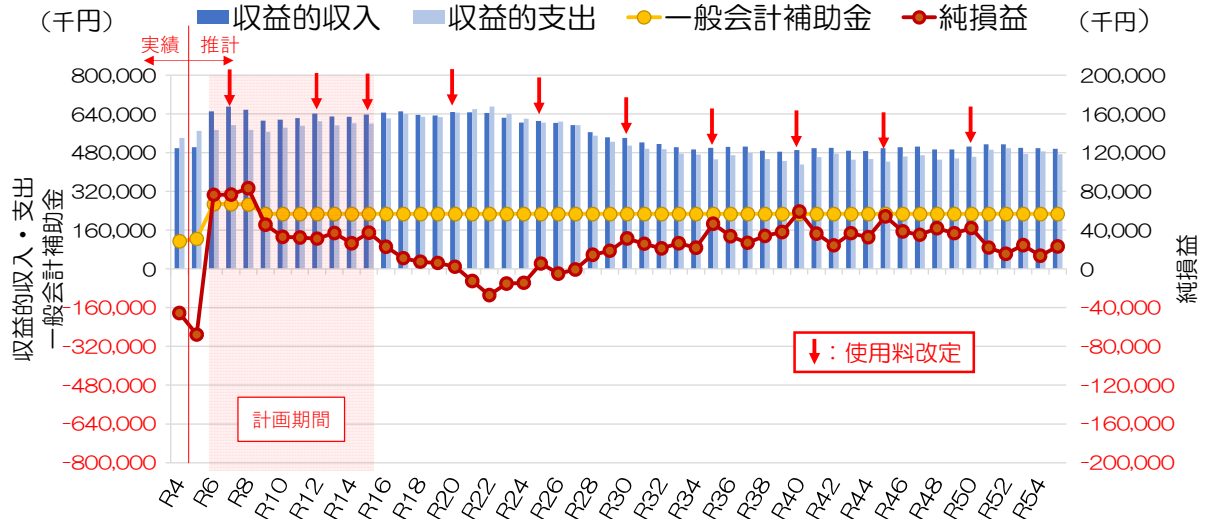


図 1.39 収益的収支の推移予測 (50年分)

1.7.4 資本的収支

企業債借入額・建設改良費は、設備の改築更新計画等(ストックマネジメント計画・最適整備構想・機能保全計画)の事業費による投資計画に基づいて計上しています。機能保全計画に基づく漁集の投資分により、資本的支出が大きく増大する年もあります。

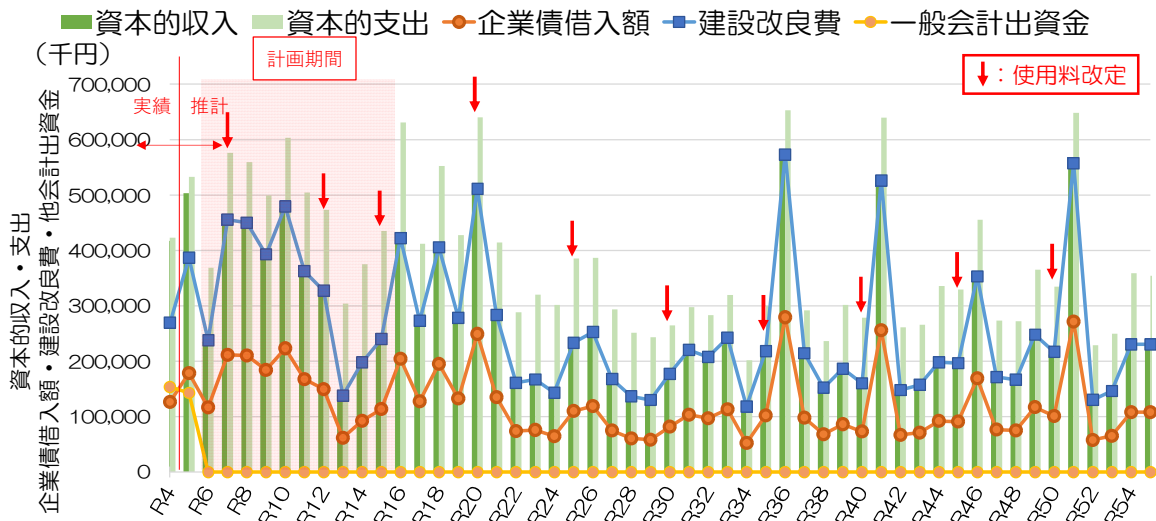


図 1.40 資本的収支の推移予測 (50年分)

1.7.5 企業債及び内部留保資金、流動比率

企業債残高について、既存分の元金償還が令和23年度にて終了するため、それ以降の10年程度は大きく減少するものと見込まれます。また、令和30年度以降は内部留保資金及び流動比率がおおよそ増加傾向にあり、50年後には、内部留保資金約1,350,000千円、流動比率722%にまで上昇すると推定されます。

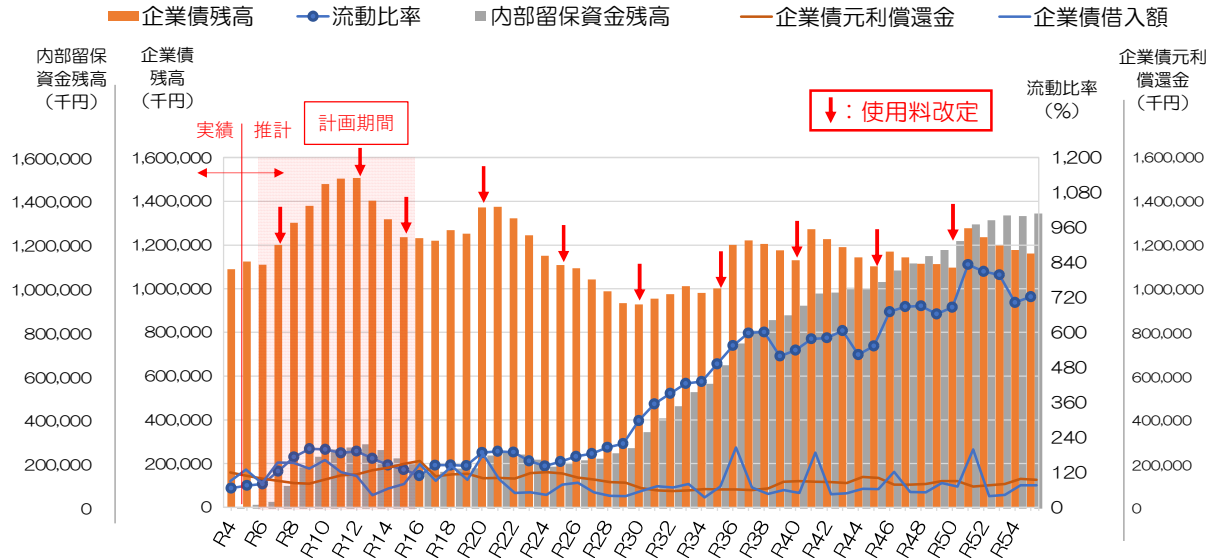


図 1.41 企業債及び内部留保資金、流動比率の推移予測（50年分）

1.7.6 一般会計繰入金

令和9年度より39,000千円/年縮減するため、令和9年度以降繰入金全体で約230,000千円の見込みとなっています。また、「1.1.3 収益的収支」より、4条基準内繰入金の一部を3条基準内繰入金に計上しなおしているため、令和6年度以降4条基準内繰入金は見込んでいません。

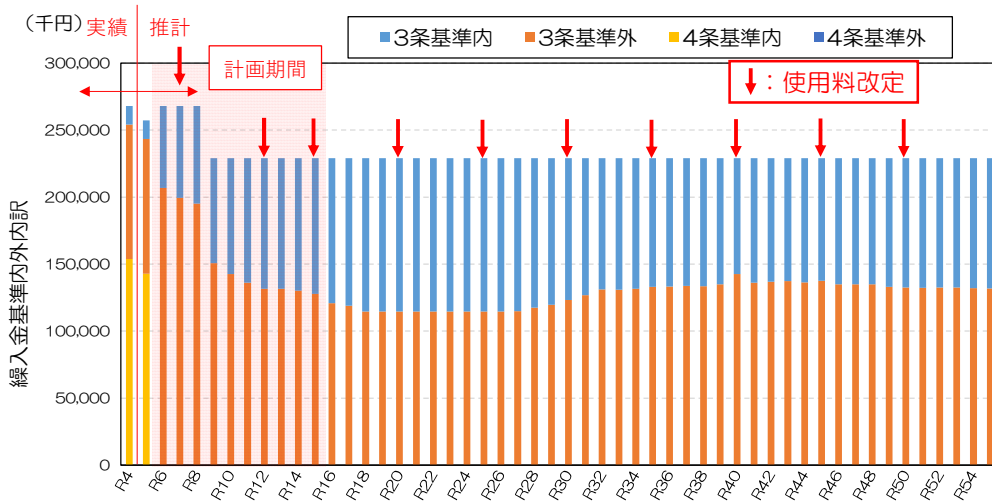


図 1.42 一般会計繰入金基準内外内訳の推移予測（50年分）

参考資料2. 住民アンケート調査結果

経営戦略を策定するにあたって、別海町の下水道に関する町民の意識や利用状況等をお聞かせいただき、今後の事業運営の基礎資料とすることを目的に「下水道に関する町民アンケート」を実施しました。

調査概要は以下のとおりです。次ページ以降に、調査結果を示します。

◆ 調査対象

令和5年4月現在、別海町にお住いの全ての世帯。

◆ 調査方法

郵送による調査票の配布、郵送による調査票の回収（無記名回答方式）

◆ 調査期間

調査票発送：令和5年4月7日

回収期間：令和5年4月10日～令和5年5月19日到着分まで

◆ 回答状況

送付総件数：5,984件

回収総件数：2,003件

回収率：約33.5%

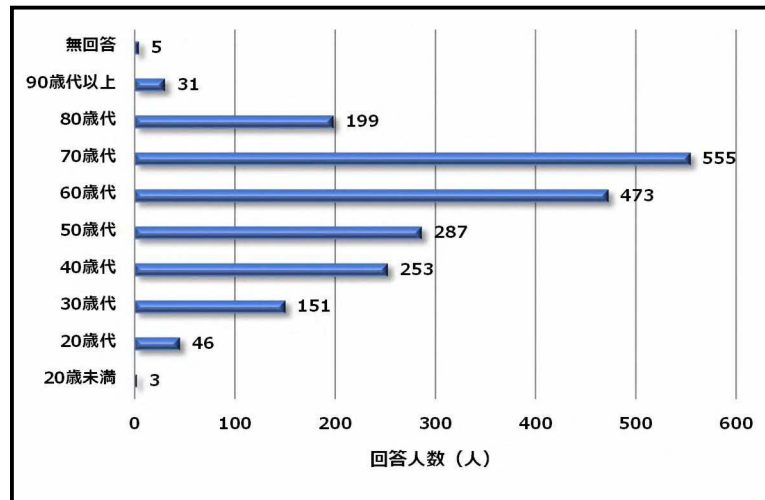
2.1 回答者の基本属性

(1) お答えいただいている方の年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳代
9. 90歳以上

○調査結果

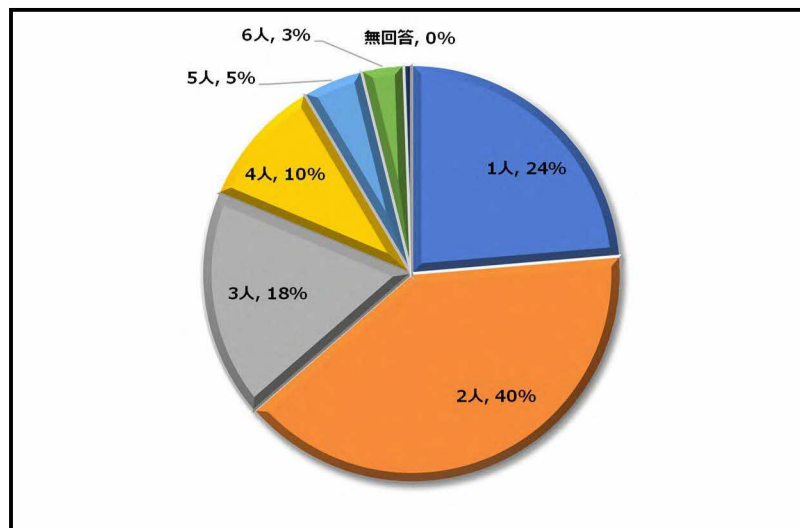


(2) お住いの家族構成を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人以上

○調査結果

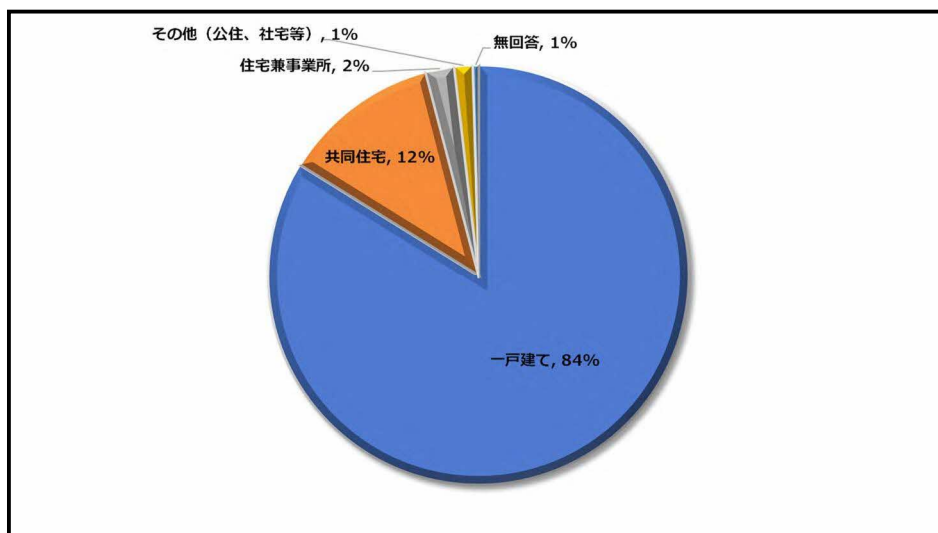


(3) お住まいの形態を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 一戸建て住宅
2. 共同住宅 (アパート・マンションなど)
3. 住宅と事業所の併用
4. その他

○調査結果

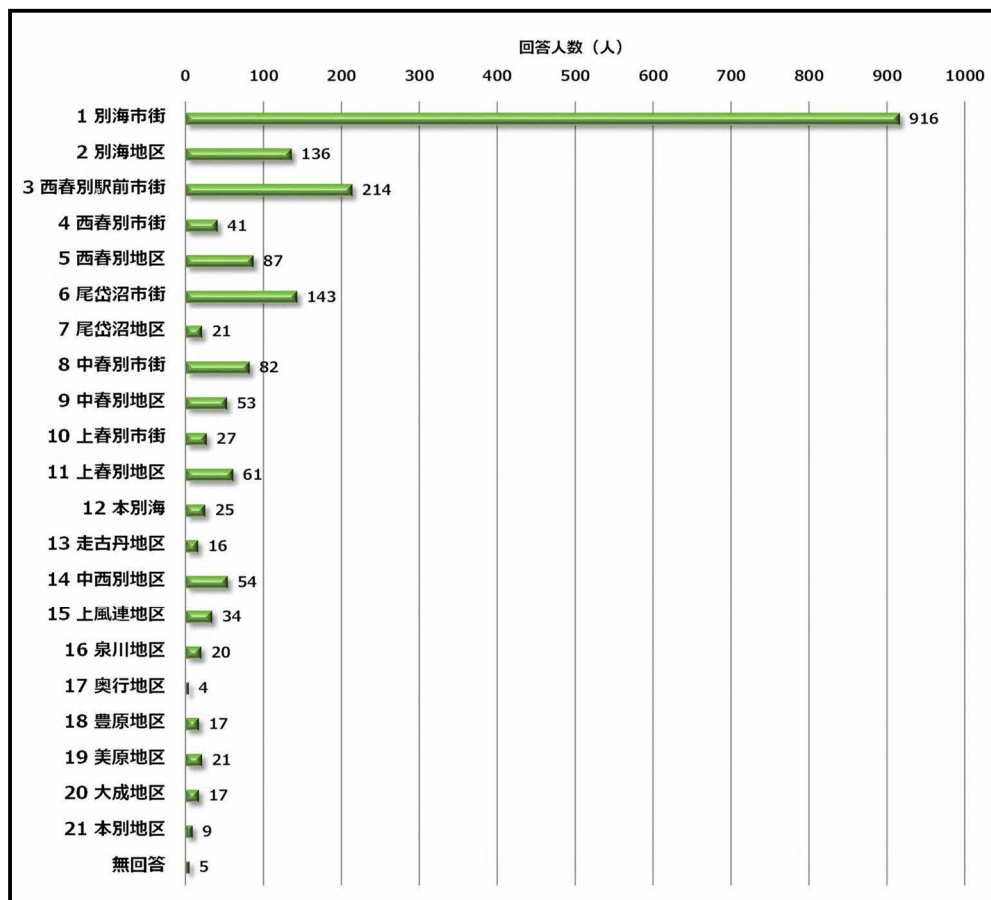


(4) お住いの地区を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 別海市街 (常盤町、宮舞町、旭町、寿町、緑町、川上町、新栄町、鶴舞町)
2. 別海地区 (上記以外の地区)
3. 西春別駅前市街 (寿町、栄町、錦町、曙町、西町)
4. 西春別市街 (幸町、清川町、昭栄町、本久町、宮園町)
5. 西春別地区 (上記以外の地区)
6. 尾岱沼市街 (港町、潮見町、岬町)
7. 尾岱沼地区 (上記以外の地区)
8. 中春別市街 (西町、東町、南町)
9. 中春別地区 (上記以外の地区)
10. 上春別市街 (旭町、栄町、緑町、南町)
11. 上春別地区 (上記以外の地区)
12. 本別海地区
13. 走古丹地区
14. 中西別地区
15. 上風連地区
16. 泉川地区
17. 奥行地区
18. 豊原地区
19. 美原地区
20. 大成地区
21. 本別地区

○調査結果

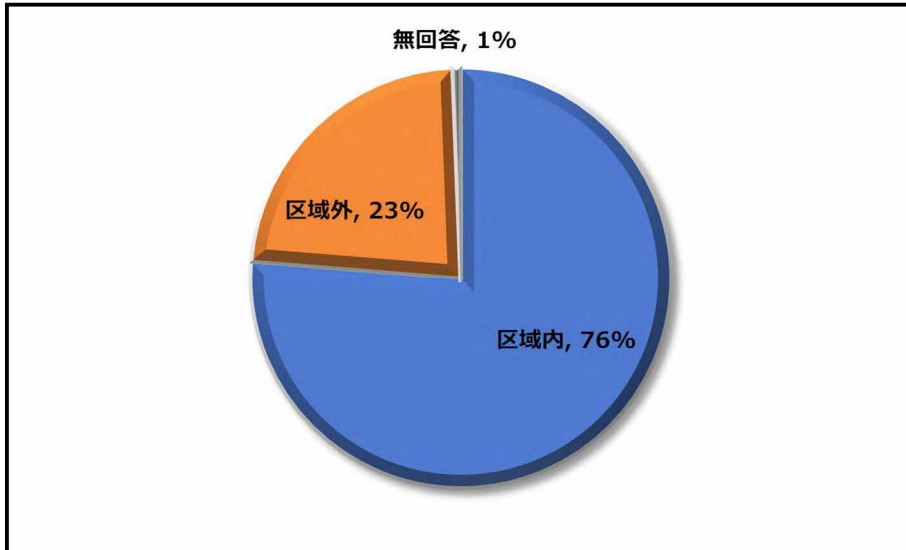


(5) お住いの場所は下水道供用開始区域の内か外かについて教えてください。(どちらかに○)

○選択肢

1. 下水道供用開始区域内である
2. 下水道整備区域外である

○調査結果

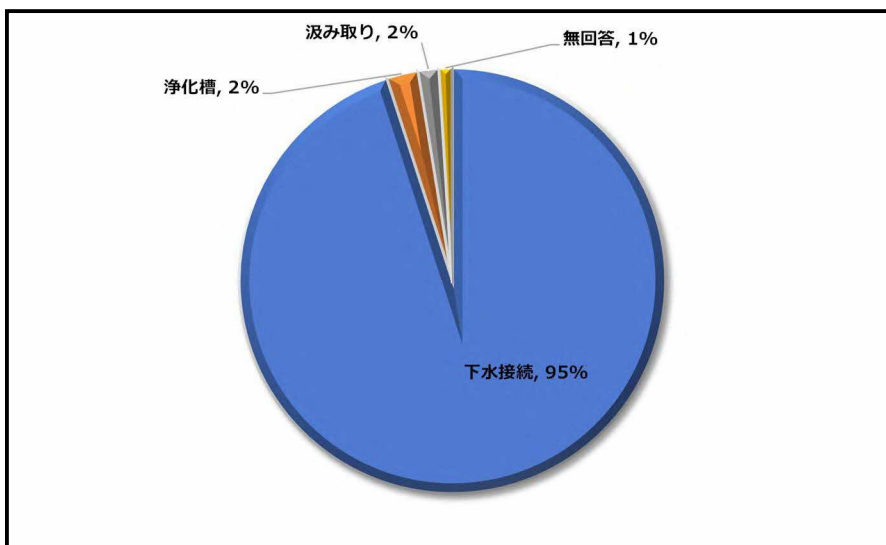


(6) (5)において、「1.下水道供用開始区域内である」に○をつけた方にお伺いします。現在の下水道使用状況について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 下水道が接続されている
2. 浄化槽である
3. 汲取り式である

○調査結果

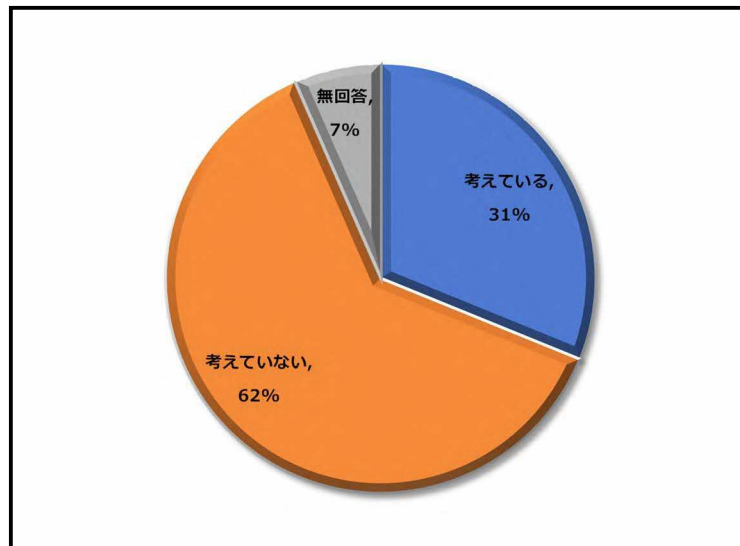


(7) (6)において、「2.浄化槽である 3.汲取り式である」に○をつけた方にお伺いします。今後下水道への接続を考えているのか教えてください。(どちらかに○)

○選択肢

1. 考えている 2. 考えていない

○調査結果

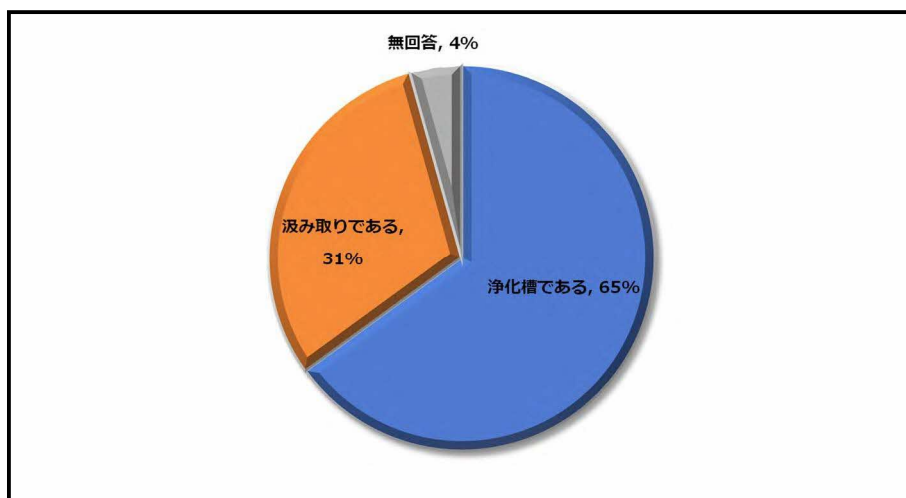


(8) (5)において「2.下水道整備区域外である」と回答した方にお伺いします。現在の排水施設状況について教えてください。(どちらかに○)

○選択肢

1. 浄化槽である 2. 汲取り式である

○調査結果

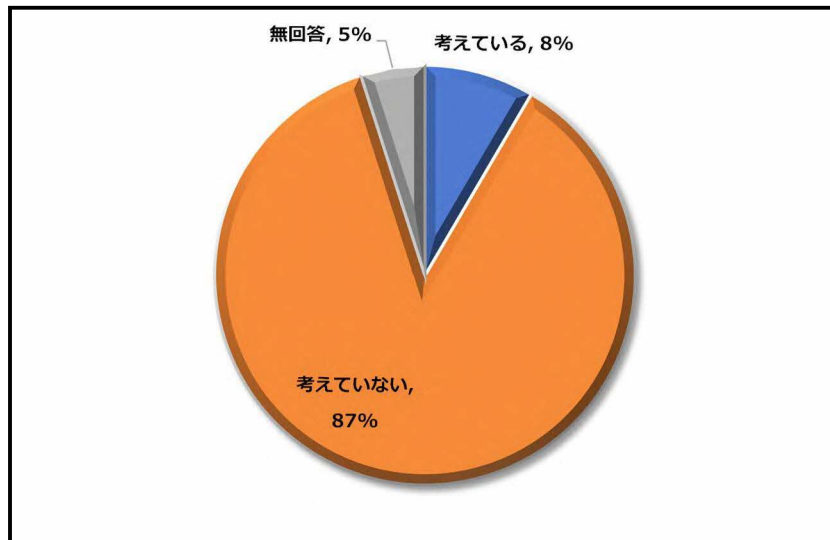


- (9) (8) において「2.汲取り式である」と回答した方にお伺いします。
今後、浄化槽設置を考えているか教えてください。(どちらかに○)

○選択肢

1. 考えている 2. 考えていない

○調査結果

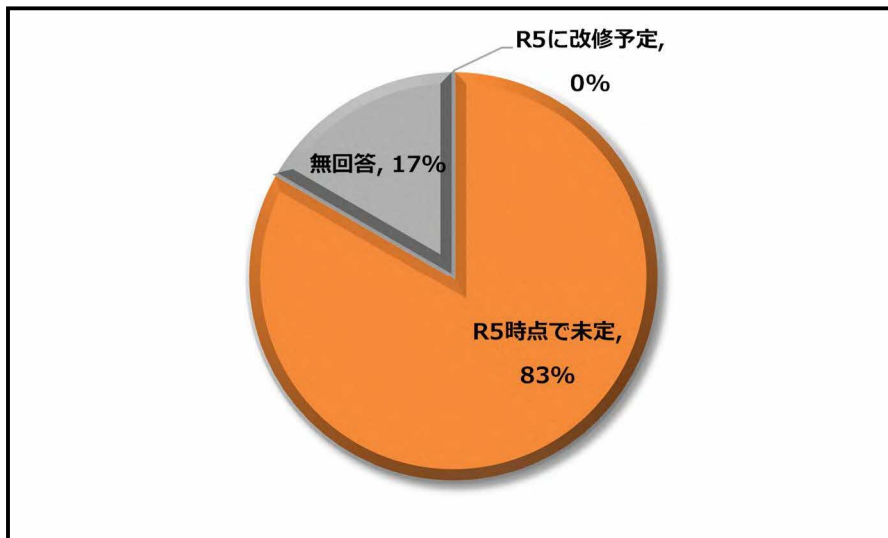


- (10) (7) および (9) において「1.考えている」と回答した方にお伺いします。下水道若しくは浄化槽に改修する予定時期について教えてください。(あてはまるものに○)

○選択肢

1. 令和5年度に改修 2. 未定(令和○年度予定) 3. その他

○調査結果

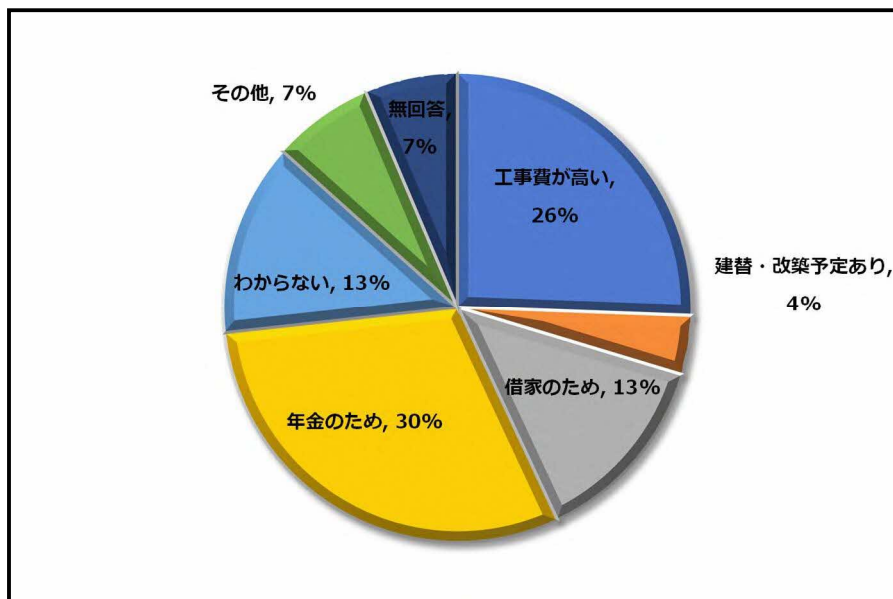


- (11) (7) および (9) において「2.考えていない」と回答した方にお伺いします。どのような理由で下水道若しくは浄化槽の設置を考えていないのか教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 工事費が高すぎるため
2. 家の建替えや改築する予定があるため
3. 借家のため
4. 年金生活のため
5. わからない
6. その他

○調査結果



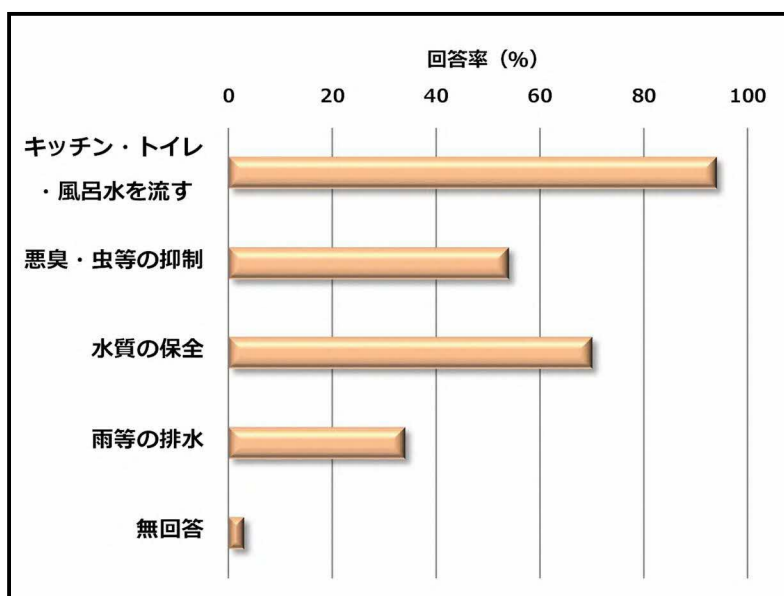
2.2 下水道について

(12) 下水道について、知っていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

○選択肢

1. キッチン・水洗トイレ・お風呂などで使った生活排水を流す
2. 悪臭や、ハエ・蚊の発生を軽減し、生活環境の改善を図る
3. 生活排水などの汚水を処理して川に戻し、水質を守る
4. 大雨や雪解け水を速やかに川に流す

○調査結果

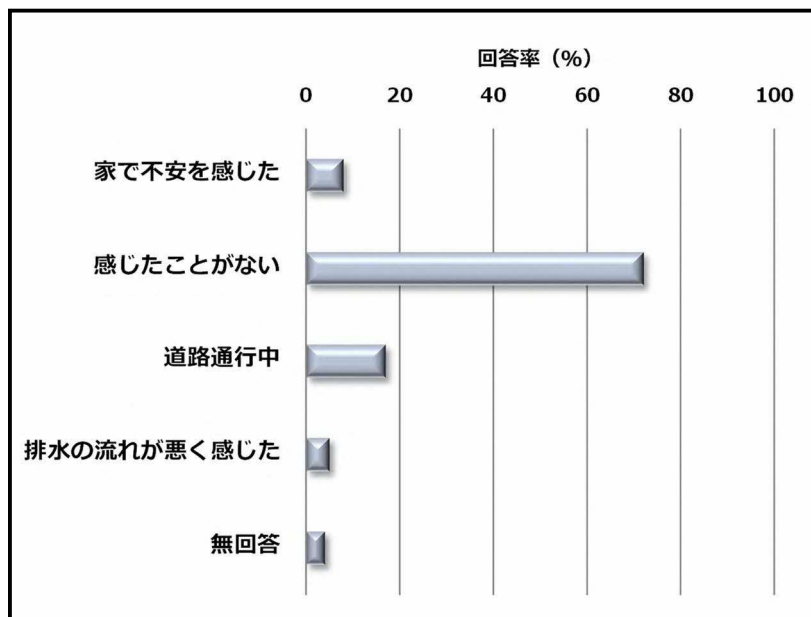


(13) 大雨などの時、浸水被害に不安を感じたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

○選択肢

1. 家で不安を感じた
2. 不安を感じたことがない
3. 町内の道路を通行（自動車などを含む）して不安を感じた
4. キッチン、トイレ等の排水の流れが悪くなった

○調査結果

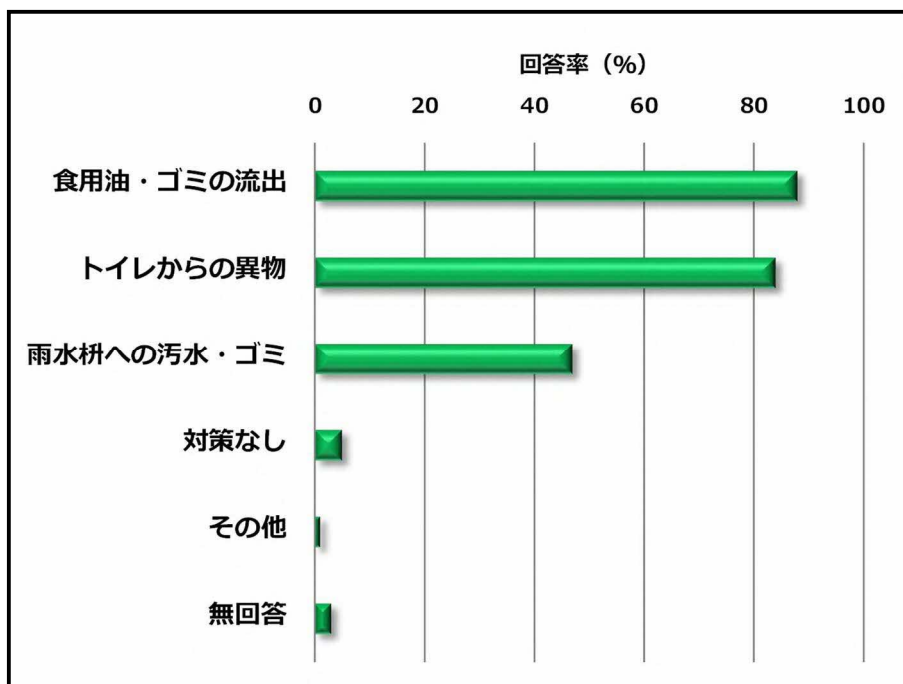


- (14) 日頃の下水道における環境対策で心がけていることを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

○選択肢

1. 食用油やゴミなどを流さない
2. トイレへ水に溶けないもの（紙おむつなど）を流さない
3. 雨水ますに汚水やゴミなどを流さない
4. 特に、対策をしていない
5. その他

○調査結果

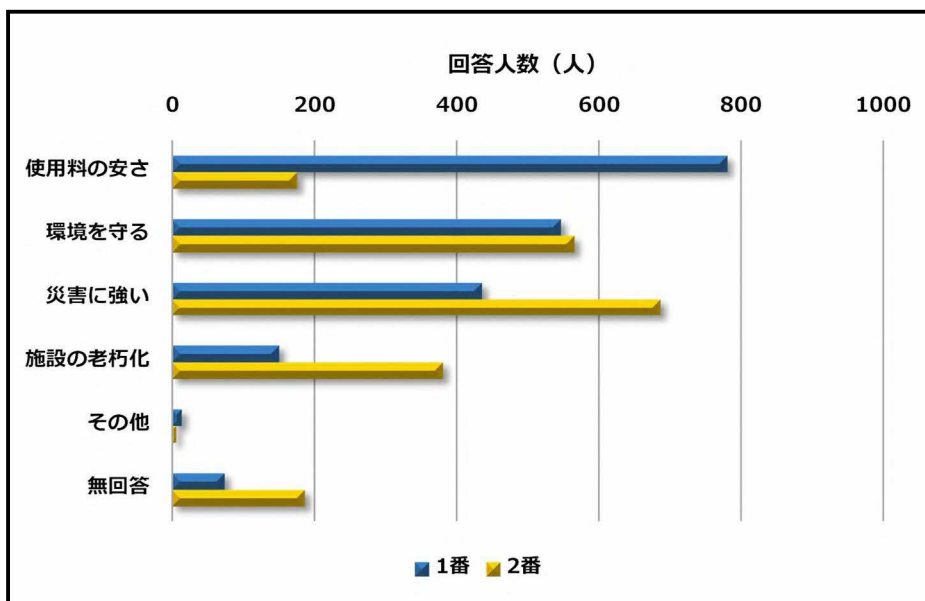


- (15) 別海町の下水道は今後どのように進めるべきとお考えですか。
(優先度の高い順に2つ選び、数字を記入)

○選択肢

1. 下水道使用料が安いこと
2. 川や海の環境を守ること
3. 災害（地震・大雨・停電など）に強いこと
4. 施設の老朽化対策をすすめること
5. その他

○調査結果



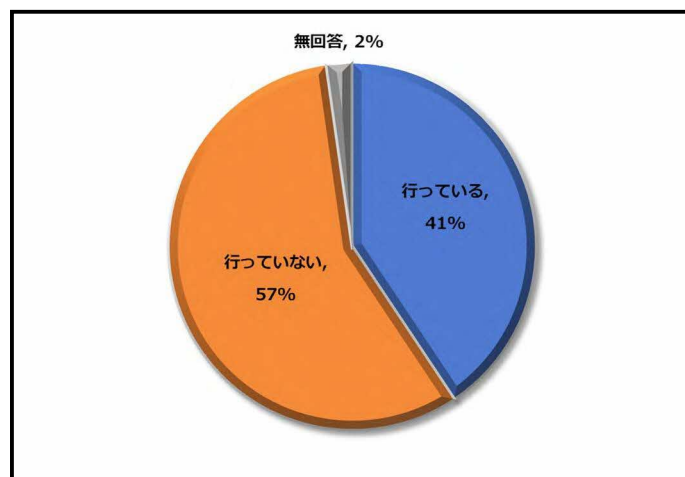
2.3 災害への備えについて

(16) 災害に備えた飲料水等の保存を行っていますか。(どちらかに○)

○選択肢

1. 行っている
2. 行っていない

○調査結果

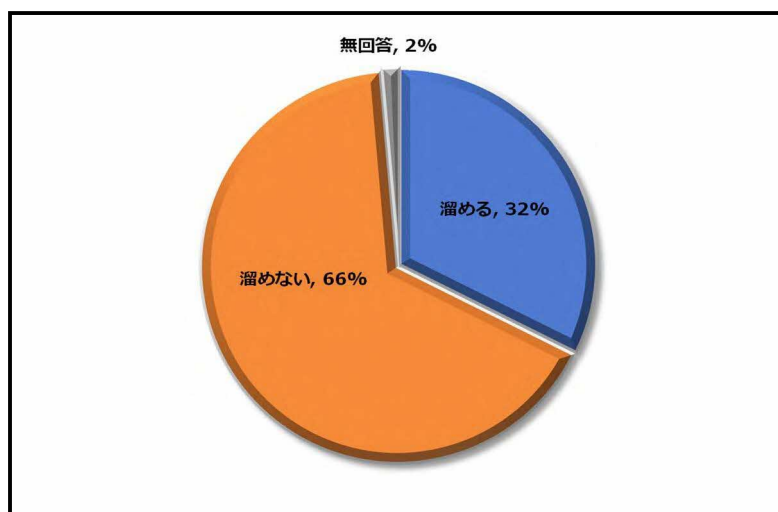


(17) 長雨や台風が近づいたときに、お風呂などに水を溜めますか。(どちらかに○)

○選択肢

1. はい
2. いいえ

○調査結果

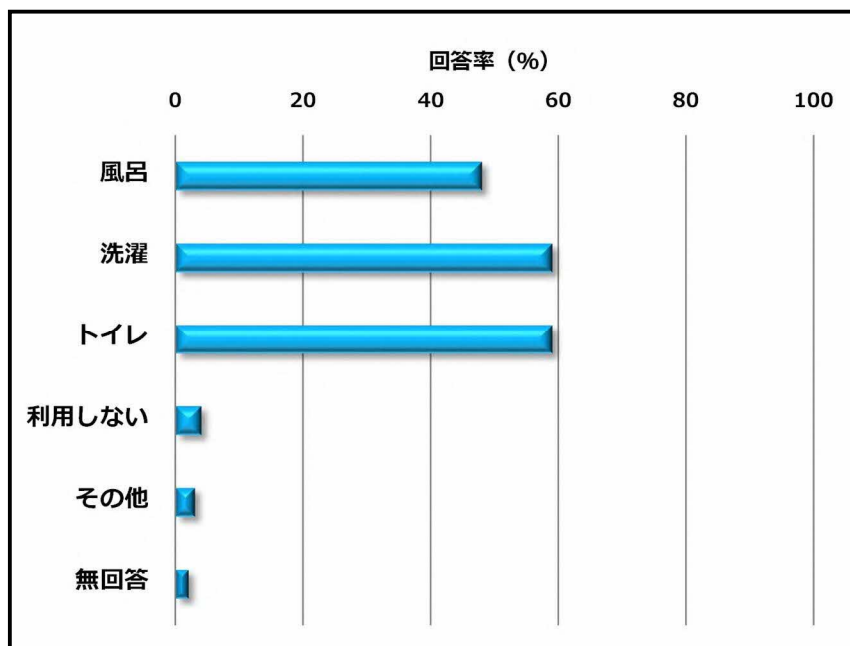


(18) (17) の質問で「1.はい」とお答えの方にお伺いします。
溜めた水の利用方法について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○選択肢

1. お風呂
2. 洗濯
3. トイレ
4. 利用しない
5. その他

○調査結果

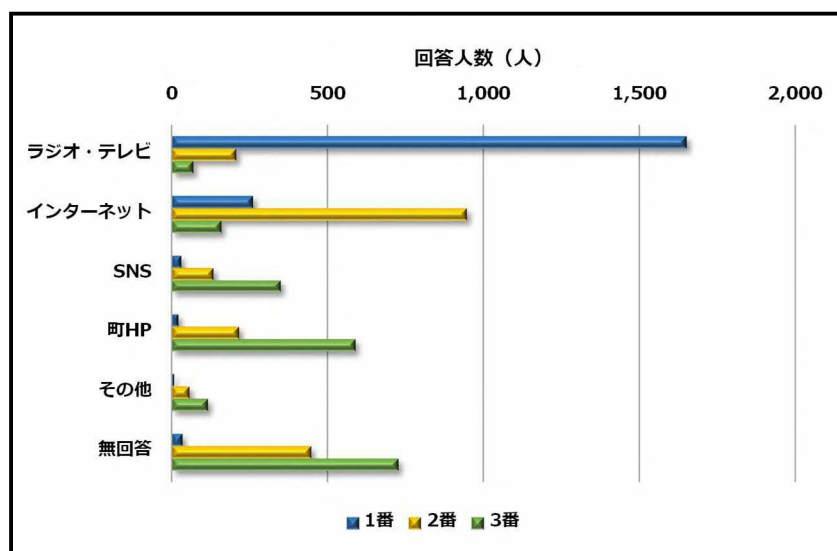


(19) 災害が起きた際の情報はどのように収集されていますか。
(優先度の高い順に3つ選び、数字を記入)

○選択肢

1. ラジオ・テレビ
2. インターネットによる情報
3. フェイスブックなどの SNS
4. 別海町のホームページ
5. その他

○調査結果



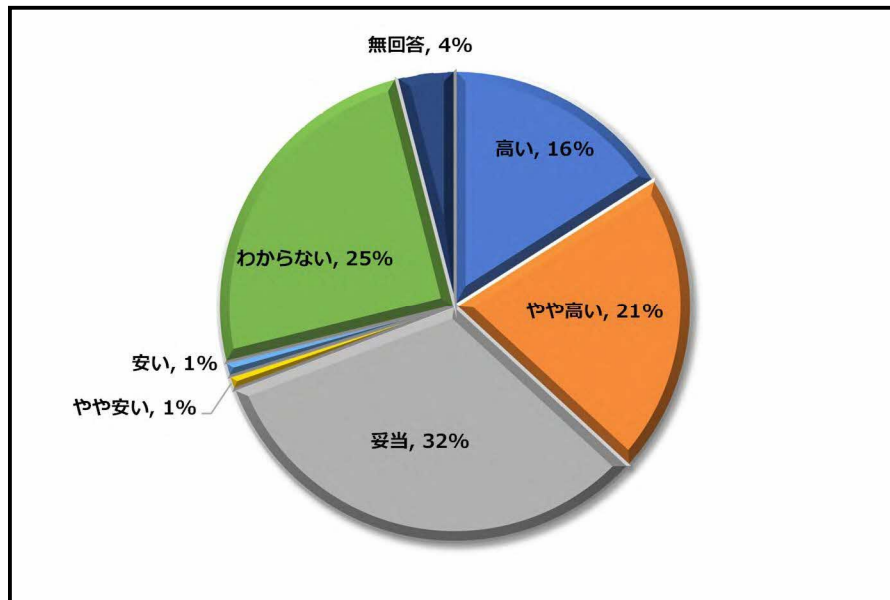
2.4 下水道の料金について

(20) 現在の下水道料金について、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 高い (21) へ
2. やや高い (21) へ
3. 妥当 (23) へ
4. やや安い (22) へ
5. 安い (22) へ
6. わからない (23) へ
- 7.

○調査結果

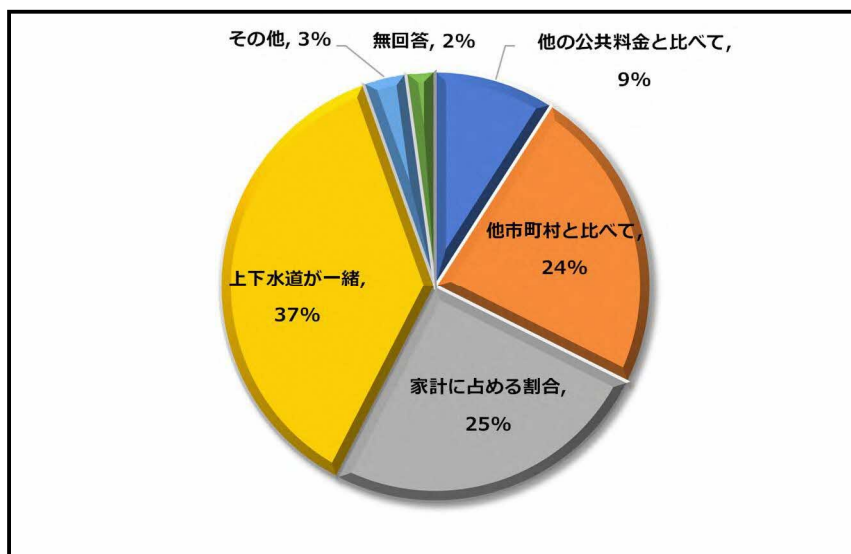


- (21) (20) の質問で「1.高い 2.やや高い」とお答えの方にお伺いします。
そのように感じる主な理由を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 他の公共料金と比べて (電気・ガスなど)
2. 他の市町村の料金と比べて
3. 家計に占める割合が大きいから
4. 水道料金・下水道使用料を一緒に払っているから
5. その他

○調査結果

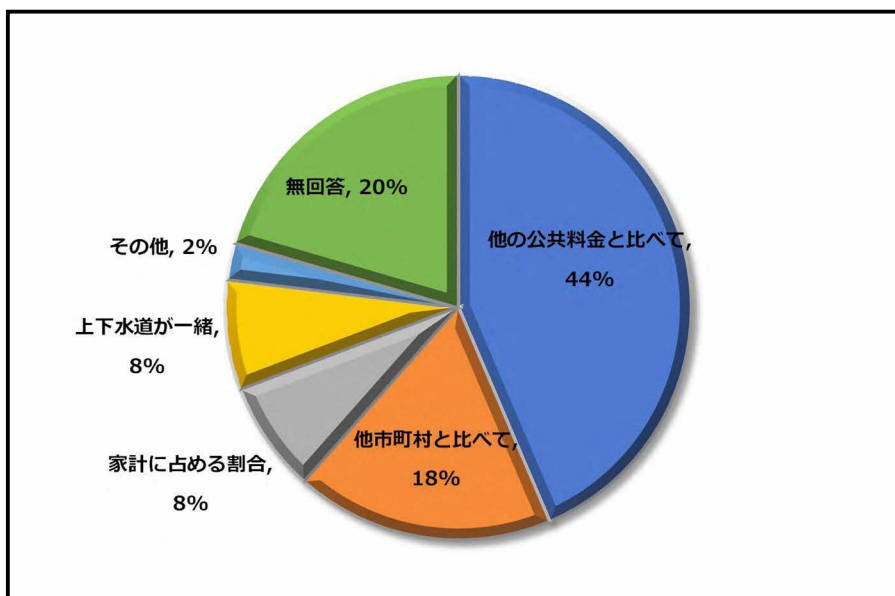


(22) (20) の質問で「4.やや安い 5.安い」とお答えの方にお伺いします。そのように感じる主な理由を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 他の公共料金と比べて（電気・ガスなど）
2. 他の市町村の料金と比べて
3. 家計に占める割合が少ないから
4. 水道料金・下水道使用料を一緒に払っているから
5. その他

○調査結果

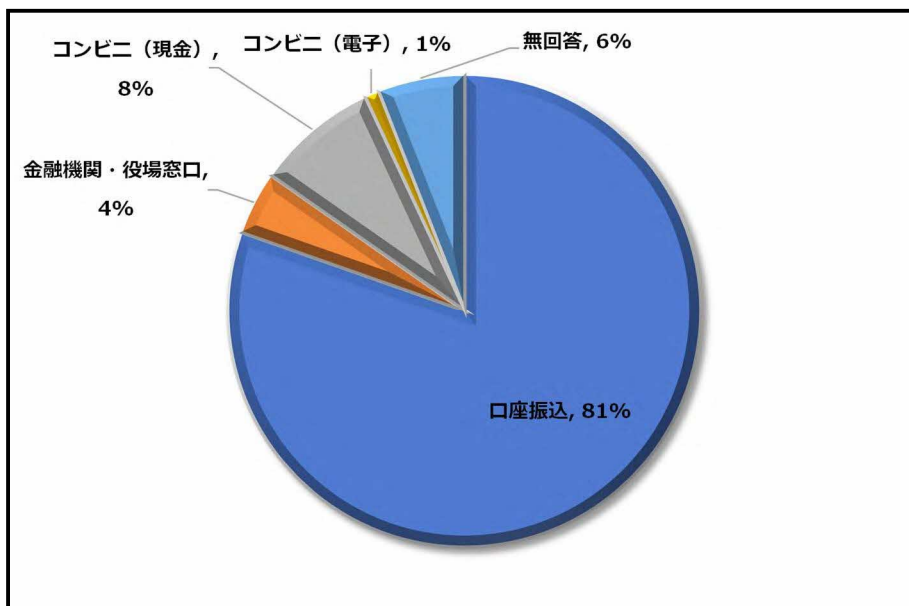


(23) 現在、料金はどのような方法でお支払いですか。(あてはまるもの1つに○)

○選択肢

1. 金融機関での口座振替によるお支払い (25) へ
2. 金融機関や役場窓口での納付書(現金)によるお支払い (24) へ
3. コンビニエンスストアでの納付書(現金)によるお支払い (24) へ
4. コンビニエンスストアでの納付書(電子マネー)によるお支払い (25) へ

○調査結果

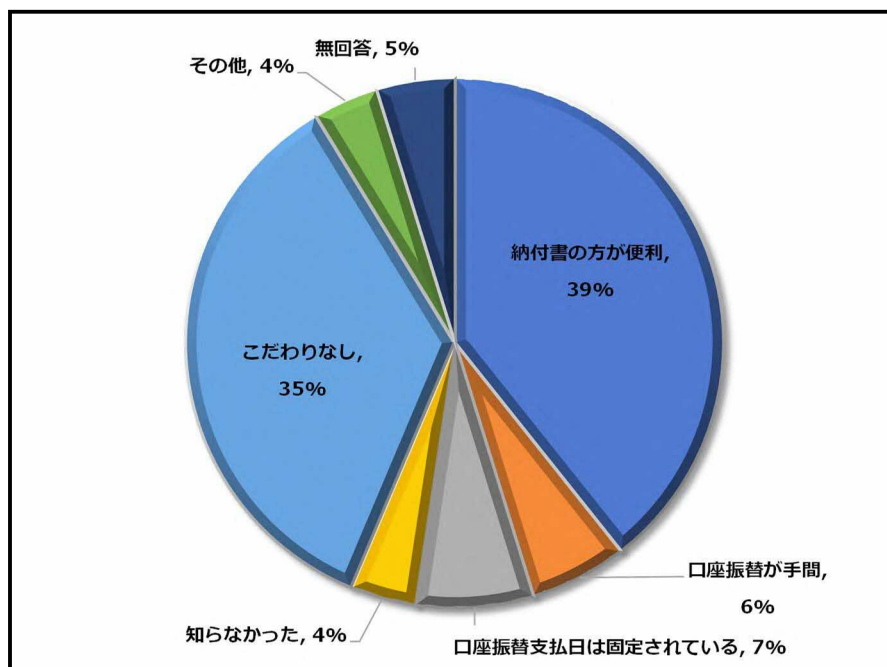


(24) (23) の質問で「2.金融機関や役場窓口での納付書（現金）によるお支払い」または「3.コンビニエンスストアでの納付書（現金）によるお支払い」とお答えの方にお伺いします。現在のお支払方法を利用している主な理由を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

○選択肢

1. 納付書による支払いの方が便利だから
2. 口座振替の手続きに手間がかかるから
3. 口座振替は支払日が固定されているから
4. 口座振替できることを知らなかったから
5. 特にこだわりはない
6. その他

○調査結果



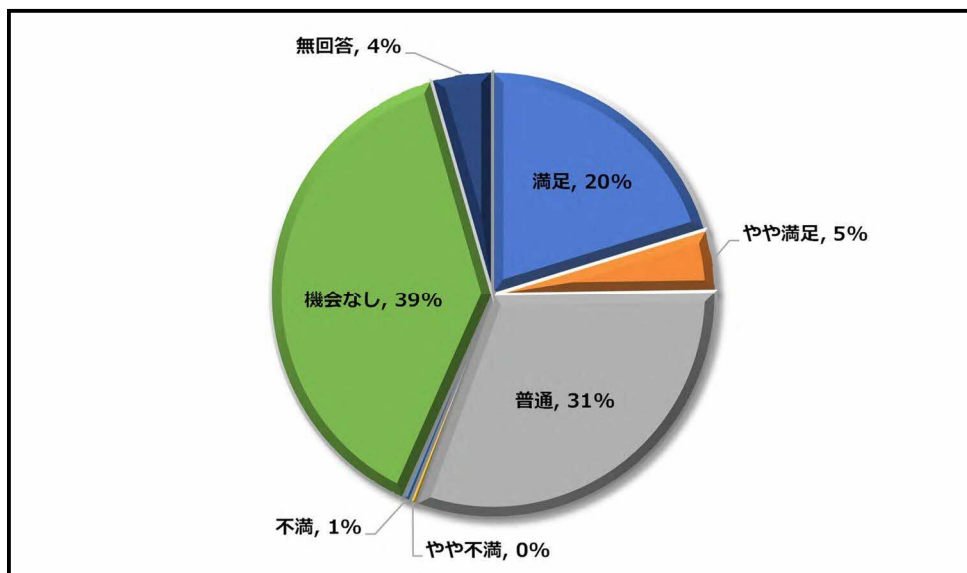
2.5 上下水道課のサービスについて

- (25) 上下水道課職員（検針員含む）について、ここ1～2年間の対応（電話対応を含む）はいかがでしたか。（あてはまるもの1つに○）

○選択肢

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満
6. 接する機会がなかった

○調査結果



2.6 その他

(26) 下水道等事業に対するご意見やご提案など、ご自由にお書きください。

- ・ 供用区域の拡大を希望する。
- ・ 浄化槽を設置したが、その後の維持費がかかる。
- ・ 浄化槽を設置する前に、維持管理費がどのくらいかかるか知りたかった。
- ・ 下水道施設・管の老朽化が心配である。
- ・ 今後、人口減少により使用料の値上げが考えられるので心配。

参考資料3. 用語集

別紙参照。